

## ■ 平成 30 年度の事業実施状況【概要】

### I 魅力づくり

#### 《取組の方向性》

地域の魅力や特性を地域住民が共有し、幅広い多くの地域住民の参画により、目標を共有し、楽しいまちづくりに取り組む。

#### (1) 自分の地域やコミュニティ活動への関心を高める

- ア 「“共創”自治協議会サミット」の開催
- イ 「コミュニティ通信」や「福岡市コミュニティ News」を通じた地域情報の発信
- ウ 「ふくおか市政だより」への記事掲載 **※参考資料①**
- エ 市ホームページの充実
- オ コミュニティが行う ICT を活用した広報活動等の支援
- カ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援【再掲】

#### (2) 幅広い多くの地域住民の参加

- ア ボランティア体験事業の実施
- イ ボランティアに興味がある市民への情報提供
- ウ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援【再掲】
- エ 公民館事業を通じた人事発掘・育成【再掲】

#### (3) 校区・地区の実情・特色に応じたコミュニティ活動や運営

- ア 「自治協議会共創補助金」による支援
- イ 「“共創”自治協議会サミット」の開催【再掲】
- ウ 校区ビジョン策定支援 **※参考資料②**

### II 絆づくり

#### 《取組の方向性》

自治会・町内会など小さなコミュニティを大切にし、見守りや防災に繋がるような、住民相互の顔の見える関係づくりに取り組む。

#### (1) 顔の見える関係づくり

- ア 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援 **※参考資料③**
- イ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催
- ウ 自治会・町内会の法人認可（地縁団体認可）
- エ 市民向け PR チラシの配布
- オ 「自治会活動ハンドブック」等の配布 **※参考資料④**
- カ 住宅事業者との連携による集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進【再掲】

#### (2) 集合住宅入居者の地域との関わり

- ア 住宅事業者との連携による集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進
- イ 市民向け PR チラシの配布【再掲】

#### (3) 地域の各種団体等の連携強化

- ア 「自治協議会共創補助金」による支援【再掲】

## Ⅲ 担い手づくり

### 《取組の方向性》

担い手の負担を軽減するとともに、人材の発掘・育成、企業や事業者、NPO など様々な主体の参画を図ることで担い手づくりに取り組む。

#### (1) 地域活動への参加者を増やす

- ア 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力
- イ 自治協議会等会長への感謝状の贈呈
- ウ 地域デザインの学校の実施 **※参考資料⑤**
- エ 「自治会活動ハンドブック」等の配布【再掲】
- オ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援【再掲】
- カ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催【再掲】

#### (2) 地域役員等の担い手づくり

- ア コミュニティへの協力依頼の整理・削減
- イ 公民館事業を通じた人材発掘・育成【再掲】
- ウ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催【再掲】
- エ 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力【再掲】
- オ 「“共創”自治協議会サミット」の開催【再掲】
- カ 自治協議会等会長への感謝状の贈呈【再掲】
- キ 「自治協議会共創補助金」による支援【再掲】

#### (3) 新たな担い手としての企業等の参加の促進

- ア “ふくおか”地域の絆応援団の登録・公表 **※参考資料⑥**
- イ セミナー開催による連携の促進 **※参考資料⑦**
- ウ 地域活動を応援している企業等への感謝状の贈呈 **※参考資料⑧**

## Ⅳ 全体を通じた取組み

### 《具体的な取組み》

#### (1) ふくおか共創プロジェクト

- ア 「共創コネクター」による支援 **※参考資料⑨**
- イ 校区ビジョン策定支援【再掲】
- ウ 地域デザインの学校の実施【再掲】
- エ セミナー開催による連携の促進【再掲】

#### (2) 公民館の取組

- ア 公民館事業を通じた人材発掘・育成
- イ 自治協議会等との連携による効果的・効率的な事業の推進
- ウ 公民館による自治協議会等のコミュニティ支援の充実
- エ 公民館職員への研修などの実施

#### (3) 情報通信技術（ICT）の活用促進

- ア 防災アプリ「ツナガル+（プラス）」の活用
- イ コミュニティが行う ICT を活用した広報活動等の支援【再掲】

#### (4) 市役所のあり方

- ア 校区担当職員への研修の実施
- イ 職員研修の実施
- ウ 職員向け手引きの作成
- エ 市民向けPRチラシの配布【再掲】
- オ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信【再掲】

# 平成 30 年度の事業実施状況

## ■ I 魅力づくり

[主な事業等の状況]



主な事業等	事業等の実績																																		
(1) 自分の地域やコミュニティ活動への関心を高める																																			
<p>ア 「“共創” 自治協議会サミット」の開催</p>	<p>・「“共創” 自治協議会サミット」を、福岡市自治協議会等 7 区会長会との共催により開催した。</p> <p>〈開催日時〉 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 13:30～16:00</p> <p>〈会場〉 なみきスクエア なみきホール</p> <p>〈参加人数〉 約 650 人 (自治協議会関係者, 市民など)</p> <p>〈内容〉</p> <p>■ 活動事例発表</p> <p>自治協議会等 (なみきホール) ※発表順</p> <table border="1" data-bbox="491 672 1436 1232"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>団体名</th> <th>発表テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南</td> <td>横手校区自治協議会</td> <td>「よこの手カフェ」</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>鳥飼校区自治協議会</td> <td>ものづくりや自然現象を五感で楽しむ「鳥飼チルドレンズミュージアム」</td> </tr> <tr> <td>早良</td> <td>小田部校区自治協議会</td> <td>だいこん家族のまちづくり</td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>西都校区自治協議会</td> <td>九大生との連携による校区づくりを目指して</td> </tr> <tr> <td>東</td> <td>千早校区自治協議会</td> <td>「千早並木広場」でにぎわいづくり～つながるまち 広がるまち 成長するまち 千早へ～</td> </tr> <tr> <td>博多</td> <td>博多校区大浜自治協議会</td> <td>みんなの大浜まつり～若い力の発掘～</td> </tr> <tr> <td>中央</td> <td>福浜校区自治協議会</td> <td>ペーロンボート in ふくはま</td> </tr> </tbody> </table> <p>企業等 (第 1・第 2 会議室) ※発表順</p> <table border="1" data-bbox="494 1310 1436 1568"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>発表テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療法人相生会 金隈病院</td> <td>絆づくりへの一歩 ～未来への共生のために今出来ること～</td> </tr> <tr> <td>株式会社マイマイ</td> <td>交通安全と地域貢献</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人 仁愛会 仁愛保育園</td> <td>子育てサロン活動を通して</td> </tr> <tr> <td>ビックエコー小田部店</td> <td>協定書から始まる地域との連携</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="454 1590 973 1937"> </div> <div data-bbox="1005 1590 1476 1937"> </div>	区	団体名	発表テーマ	南	横手校区自治協議会	「よこの手カフェ」	城南	鳥飼校区自治協議会	ものづくりや自然現象を五感で楽しむ「鳥飼チルドレンズミュージアム」	早良	小田部校区自治協議会	だいこん家族のまちづくり	西	西都校区自治協議会	九大生との連携による校区づくりを目指して	東	千早校区自治協議会	「千早並木広場」でにぎわいづくり～つながるまち 広がるまち 成長するまち 千早へ～	博多	博多校区大浜自治協議会	みんなの大浜まつり～若い力の発掘～	中央	福浜校区自治協議会	ペーロンボート in ふくはま	団体名	発表テーマ	医療法人相生会 金隈病院	絆づくりへの一歩 ～未来への共生のために今出来ること～	株式会社マイマイ	交通安全と地域貢献	社会福祉法人 仁愛会 仁愛保育園	子育てサロン活動を通して	ビックエコー小田部店	協定書から始まる地域との連携
区	団体名	発表テーマ																																	
南	横手校区自治協議会	「よこの手カフェ」																																	
城南	鳥飼校区自治協議会	ものづくりや自然現象を五感で楽しむ「鳥飼チルドレンズミュージアム」																																	
早良	小田部校区自治協議会	だいこん家族のまちづくり																																	
西	西都校区自治協議会	九大生との連携による校区づくりを目指して																																	
東	千早校区自治協議会	「千早並木広場」でにぎわいづくり～つながるまち 広がるまち 成長するまち 千早へ～																																	
博多	博多校区大浜自治協議会	みんなの大浜まつり～若い力の発掘～																																	
中央	福浜校区自治協議会	ペーロンボート in ふくはま																																	
団体名	発表テーマ																																		
医療法人相生会 金隈病院	絆づくりへの一歩 ～未来への共生のために今出来ること～																																		
株式会社マイマイ	交通安全と地域貢献																																		
社会福祉法人 仁愛会 仁愛保育園	子育てサロン活動を通して																																		
ビックエコー小田部店	協定書から始まる地域との連携																																		

主な事業等	事業等の実績																																
<p>イ 「コミュニティ通信」や「福岡市コミュニティ News」を通じた地域情報の発信</p>	<p>・「コミュニティ通信」(平成21年10月創刊)を福岡市ホームページにて発行した。          &lt;平成30年度発行実績&gt; 4月号, 10月号 ※年2回発行          &lt;掲載内容&gt;</p> <p>■4月号(第31号)          校区の特色ある活動事例(7区, 7校区)</p> <table border="1" data-bbox="469 463 1485 826"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区八田校区</td> <td>八田ランタン祭り</td> </tr> <tr> <td>博多区東吉塚校区</td> <td>集え!ひがしっこ!おやじ達とサマーキャンプをしよう!</td> </tr> <tr> <td>中央区赤坂校区</td> <td>赤坂公園, 緑地活用プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>南区高木校区</td> <td>高木フェスタ</td> </tr> <tr> <td>城南区鳥飼校区</td> <td>鳥飼チルドレンズミュージアム</td> </tr> <tr> <td>早良区飯原校区</td> <td>校区全体への一人一花運動の展開 (I Love いいはら)</td> </tr> <tr> <td>西区愛宕浜校区</td> <td>ロコモ予防サロン愛宕浜</td> </tr> </tbody> </table> <p>■10月号(第32号)          校区の特色ある活動事例(7区, 7校区)</p> <table border="1" data-bbox="469 954 1485 1317"> <thead> <tr> <th>団体</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東区香椎校区</td> <td>香椎灯明まつり</td> </tr> <tr> <td>博多区月隈校区</td> <td>金隈新町「隣組対抗パークゴルフ大会」</td> </tr> <tr> <td>中央区春吉校区</td> <td>自転車マナーアップ街頭指導</td> </tr> <tr> <td>南区大楠校区</td> <td>「結いのまち」こころ輝く文化祭</td> </tr> <tr> <td>城南区堤丘校区</td> <td>認知症に対する取り組み</td> </tr> <tr> <td>早良区早良校区</td> <td>買い物支援サービス</td> </tr> <tr> <td>西区周船寺校区</td> <td>ついで防犯「わんわんパトロール」</td> </tr> </tbody> </table> <p>・フェイスブック「福岡市コミュニティ News」を開設し(平成27年6月～),自治協議会等に          関連するイベントや事業の案内など,様々な地域コミュニティの情報を発信している。</p>	団体	内容	東区八田校区	八田ランタン祭り	博多区東吉塚校区	集え!ひがしっこ!おやじ達とサマーキャンプをしよう!	中央区赤坂校区	赤坂公園, 緑地活用プロジェクト	南区高木校区	高木フェスタ	城南区鳥飼校区	鳥飼チルドレンズミュージアム	早良区飯原校区	校区全体への一人一花運動の展開 (I Love いいはら)	西区愛宕浜校区	ロコモ予防サロン愛宕浜	団体	内容	東区香椎校区	香椎灯明まつり	博多区月隈校区	金隈新町「隣組対抗パークゴルフ大会」	中央区春吉校区	自転車マナーアップ街頭指導	南区大楠校区	「結いのまち」こころ輝く文化祭	城南区堤丘校区	認知症に対する取り組み	早良区早良校区	買い物支援サービス	西区周船寺校区	ついで防犯「わんわんパトロール」
団体	内容																																
東区八田校区	八田ランタン祭り																																
博多区東吉塚校区	集え!ひがしっこ!おやじ達とサマーキャンプをしよう!																																
中央区赤坂校区	赤坂公園, 緑地活用プロジェクト																																
南区高木校区	高木フェスタ																																
城南区鳥飼校区	鳥飼チルドレンズミュージアム																																
早良区飯原校区	校区全体への一人一花運動の展開 (I Love いいはら)																																
西区愛宕浜校区	ロコモ予防サロン愛宕浜																																
団体	内容																																
東区香椎校区	香椎灯明まつり																																
博多区月隈校区	金隈新町「隣組対抗パークゴルフ大会」																																
中央区春吉校区	自転車マナーアップ街頭指導																																
南区大楠校区	「結いのまち」こころ輝く文化祭																																
城南区堤丘校区	認知症に対する取り組み																																
早良区早良校区	買い物支援サービス																																
西区周船寺校区	ついで防犯「わんわんパトロール」																																
<p>ウ 「ふくおか市政だより」への記事掲載          《参考資料①》</p>	<p>・市政だよりの「区版」を中心に,自治協議会などのコミュニティ活動や取り組みを紹介する          記事を掲載している。</p> <p>【東】 7/1, 7/15, 8/1, 8/15, 10/1, 11/15, 2/15, 3/1          【博多】 4/1, 4/15, 7/15, 8/15, 11/15, 12/1, 1/1          【中央】 4/15, 5/15, 6/1, 8/1, 8/15, 9/1, 11/15, 2/1, 2/15, 3/15          【南】 4/15, 5/15, 6/1, 6/15, 7/15, 8/1, 9/1, 10/1, 10/15, 11/1, 11/15, 12/1, 12/15, 1/1, 2/1, 2/15,          3/15          【城南】 5/15, 6/1, 6/15, 7/1, 7/15, 8/1, 8/15, 9/1, 10/15, 11/15, 1/1, 2/15, 3/1, 3/15          【早良】 4/1, 4/15, 5/1, 6/1, 6/15, 7/15, 8/5, 9/15, 10/15, 11/15, 12/1, 1/1, 2/1, 2/15, 3/1          【西】 5/15, 7/15, 8/1, 8/15, 11/1, 1/1, 3/1, 3/15</p>																																

主な事業等	事業等の実績															
エ 市ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページに次の事柄を掲載し、情報を発信している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－コミュニティ通信（4月号、10月号）</li> <li>－共創に向けた取り組み状況</li> </ul> </li> <li>・区ホームページで、自治協議会の活動紹介や公民館の紹介などを行っている。</li> </ul>															
オ コミュニティが行う ICT を活用した広報活動等の支援	<p>【まちづくり ICT活用支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治協議会等の希望に応じて、インターネット等を用いた地域情報発信の支援を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ブログを活用した情報発信の支援、運営方法に関する講座を実施</li> <li>－ブログ開設中の団体への支援（動画投稿の支援、地域住民向けスマホ教室の開催）</li> <li>－ポータルサイト「F u k u コミュ」での紹介</li> <li>－ケーブルテレビ番組を利用して上記活動を紹介</li> </ul> </li> </ul>															
カ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援	再掲 II-(1) ア															
(2) 幅広い多くの地域住民の参加																
ア ボランティア体験事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」において、ボランティア活動に興味がある一般市民、学生、社会人などに、それぞれのニーズに合わせた体験活動プログラムを提供する「ボランティア体験事業」を実施している。[H24.4～]</li> </ul> <p> &lt;平成30年度体験プログラム数&gt; 25プログラム  &lt;平成30年度体験人数&gt; 487人 </p>															
イ ボランティアに興味がある市民への情報提供	<p>【「あすみん」を通じた情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の全公民館や希望する市民に、NPO・ボランティア活動に関するメールマガジンを月2回配信している。[配信者数延べ51,597人]</li> <li>・NPO・ボランティア交流センター「あすみん」館内に、様々なボランティア情報を掲示している。</li> <li>・ボランティアに興味・関心を持つ市民を対象に「ボランティア活動を学ぶ講座」を実施した。[合計11回実施]</li> </ul> <p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区において、自治協議会や公民館が連携して実施する次の講座等を支援した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="443 1615 1493 1883"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>城南</td> <td>大学生への地域活動ガイダンス</td> <td>福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）</td> <td>5/26</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>PTCA活動者の地域活動研修</td> <td>小・中PTA役員等、自治協議会（七隈校区）</td> <td>6/30</td> <td>65人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	城南	大学生への地域活動ガイダンス	福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）	5/26	49人	城南	PTCA活動者の地域活動研修	小・中PTA役員等、自治協議会（七隈校区）	6/30	65人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数												
城南	大学生への地域活動ガイダンス	福岡大学・中村学園大学学生、自治協議会（七隈校区）	5/26	49人												
城南	PTCA活動者の地域活動研修	小・中PTA役員等、自治協議会（七隈校区）	6/30	65人												
ウ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援	再掲 II-(1) ア															
エ 公民館事業を通じた人材発掘・育成	再掲 IV-(1) ア															

主な事業等	事業等の実績
(3) 校区・地区の実情・特色に応じたコミュニティ活動や運営	
ア 「自治協議会共創補助金」による支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協議会が主体的に活用できる補助金（人口に応じ5区分、246-394万円）を申請に応じて交付している。〔150自治協議会に交付 ※1団体は旧制度により補助〕</li> </ul> <p>※自治協議会については、150のすべての校区/地区で設立されている。</p>
イ 「“共創”自治協議会サミット」の開催	再掲 I-(1)ア
ウ 校区ビジョン策定支援 《参考資料②》	<ul style="list-style-type: none"> <li>住んでいる地域の現状と将来像を校区住民が共有し、地域の目標や特性を生かした地域による地域のためのまちづくりの推進を図る。</li> <li>校区運営に関わる住民以外の視点も活かして将来像を語り合う過程を経ることで、住んでいる地域へのさらなる愛着と誇りの醸成や、新たな地域活動の担い手の発掘・育成を図る。</li> </ul> <p>【実施校区】博多区月隈校区</p>

主な事業等	事業等の実績																																																		
<p>(1) 顔の見える関係づくり</p> <p>ア 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援 《参考資料③》</p>	<p>・自治会・町内会が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できるような工夫をこらした新たな取組みを支援している。</p> <p><b>【補助金額】</b> 本事業による補助金の交付は、1団体につき1事業のみで、3年を限度とする。 補助金の額は次の表の事業区分に応じ算定した額とする。</p> <table border="1" data-bbox="406 510 1469 719"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th colspan="2">補助率</th> <th>1町内の 限度額</th> <th>2町内合同 の限度額</th> <th>3町内以上合 同の限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新規事業</td> <td>1年目</td> <td>5分の4以内</td> <td>100,000円</td> <td>200,000円</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>2・3年目</td> <td>2分の1以内</td> <td>50,000円</td> <td>100,000円</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>リニューアル事業</td> <td>1～3年目</td> <td>2分の1以内</td> <td>50,000円</td> <td>100,000円</td> <td>150,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【平成30年度交付実績】</b></p> <table data-bbox="518 763 1061 920"> <tbody> <tr> <td>1年目</td> <td>新規事業</td> <td>25件</td> <td>リニューアル事業</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>新規事業</td> <td>16件</td> <td>リニューアル事業</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>3年目</td> <td>新規事業</td> <td>71件</td> <td>リニューアル事業</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">合計 155件</td> </tr> </tbody> </table> 	事業区分	補助率		1町内の 限度額	2町内合同 の限度額	3町内以上合 同の限度額	新規事業	1年目	5分の4以内	100,000円	200,000円	300,000円	2・3年目	2分の1以内	50,000円	100,000円	150,000円	リニューアル事業	1～3年目	2分の1以内	50,000円	100,000円	150,000円	1年目	新規事業	25件	リニューアル事業	9件	2年目	新規事業	16件	リニューアル事業	8件	3年目	新規事業	71件	リニューアル事業	26件			合計 155件									
事業区分	補助率		1町内の 限度額	2町内合同 の限度額	3町内以上合 同の限度額																																														
新規事業	1年目	5分の4以内	100,000円	200,000円	300,000円																																														
	2・3年目	2分の1以内	50,000円	100,000円	150,000円																																														
リニューアル事業	1～3年目	2分の1以内	50,000円	100,000円	150,000円																																														
1年目	新規事業	25件	リニューアル事業	9件																																															
2年目	新規事業	16件	リニューアル事業	8件																																															
3年目	新規事業	71件	リニューアル事業	26件																																															
		合計 155件																																																	
<p>イ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催</p>	<p><b>【自治会・町内会長研修】</b></p> <table border="1" data-bbox="448 1048 1513 1473"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東</td> <td>自治会長・町内会長研修</td> <td>自治会長・町内会長等</td> <td>5/17・5/30・6/19</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>博多</td> <td>自治会長・町内会長研修会</td> <td>新任自治会・町内会長等</td> <td>6/9</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>中央</td> <td>自治会・町内会長交流会</td> <td>自治会・町内会長等</td> <td>2/19</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>南</td> <td>新任自治会長・町内会長研修</td> <td>新任自治会長・町内会長</td> <td>5/29</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>新任自治会・町内会長研修</td> <td>新任自治会・町内会長等</td> <td>6/23</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>早良</td> <td>新任自治会長・町内会長研修</td> <td>新任自治会・町内会長等</td> <td>6/22</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>自治会・町内会新任役員研修</td> <td>新任自治会・町内会長等</td> <td>5/29, 30</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【広報講座】</b></p> <table border="1" data-bbox="448 1559 1513 1653"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td> <td>自治会・町内会PRチラシ作成支援事業</td> <td>自治会・町内会</td> <td>H30.9～30.12</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	東	自治会長・町内会長研修	自治会長・町内会長等	5/17・5/30・6/19	74人	博多	自治会長・町内会長研修会	新任自治会・町内会長等	6/9	94人	中央	自治会・町内会長交流会	自治会・町内会長等	2/19	37人	南	新任自治会長・町内会長研修	新任自治会長・町内会長	5/29	51人	城南	新任自治会・町内会長研修	新任自治会・町内会長等	6/23	35人	早良	新任自治会長・町内会長研修	新任自治会・町内会長等	6/22	53人	西	自治会・町内会新任役員研修	新任自治会・町内会長等	5/29, 30	82人	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	中央	自治会・町内会PRチラシ作成支援事業	自治会・町内会	H30.9～30.12	10人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																																															
東	自治会長・町内会長研修	自治会長・町内会長等	5/17・5/30・6/19	74人																																															
博多	自治会長・町内会長研修会	新任自治会・町内会長等	6/9	94人																																															
中央	自治会・町内会長交流会	自治会・町内会長等	2/19	37人																																															
南	新任自治会長・町内会長研修	新任自治会長・町内会長	5/29	51人																																															
城南	新任自治会・町内会長研修	新任自治会・町内会長等	6/23	35人																																															
早良	新任自治会長・町内会長研修	新任自治会・町内会長等	6/22	53人																																															
西	自治会・町内会新任役員研修	新任自治会・町内会長等	5/29, 30	82人																																															
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																																															
中央	自治会・町内会PRチラシ作成支援事業	自治会・町内会	H30.9～30.12	10人																																															
<p>ウ 自治会・町内会の法人認可 (地縁団体認可)</p>	<p>・自治会・町内会等の地縁による団体について、申請に応じ、法人として認可している。[随時] 〈平成30年度認可数〉 4件 (平成31年3月31日時点) ※ 制度発足(H3)からの法人認可数：360件</p>																																																		
<p>エ 市民向けPRチラシの配布</p>	<p>・コミュニティの大切さや取り組みを紹介し、市民の理解を求めるチラシを作成し、配布を行っている。[H22.3～] 〈配布方法〉 区役所市民課窓口にて、市外からの転入者に配布</p> <p>・自治会・町内会自らが、転入者や未加入者に対し自治組織の意義や重要性についてPRすることができ、自治会の名称や連絡先を記載できるチラシを配布 [H25.3～]</p> <p>・集合住宅居住者向けパンフレットを作成し、自治会・町内会へ提供 [H29.3～]</p> 																																																		


主な事業等	事業等の実績
<p>オ 「自治会活動ハンドブック」等の配布 《参考資料④》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年 3 月に「自治会活動ハンドブック-第 2 次改訂版-」及びパンフレット「住みよいまちをみんなで作ろう！」を発行。平成 28 年 3 月に 2 回目の改訂版を発行。</li> <li>区によっては、このハンドブックを活用して研修会を実施。</li> <li>平成 22 年度には姉妹編として、「自治会長の知恵袋」（実際の活動現場で生まれたアイデアやノウハウ、先進的な取り組みを、運営や活動の場面ごとにまとめた事例集）を作成。</li> <li>平成 30 年度に「ふくおか自治会ミニブック」（自治会等の活動などに関する基礎知識や参考となる事例などをまとめた冊子）を作成。</li> </ul> 
<p>カ 住宅事業者との連携による集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進</p>	<p>再掲Ⅱ-（2）ア</p>
<p>(2) 集合住宅入居者の地域との関わり</p>	
<p>ア 住宅事業者との連携による集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「福岡市建築紛争の予防と調整に関する条例」では、集合住宅の建築主は地域のコミュニティ活動への参加・協力を規定した管理規約作成を努力義務とすることなどを規定。</li> <li>UR 都市機構「福岡営業センター」における、入居契約者に対する自治活動参加促進チラシの配布、「コミュニティ通信」のセンターでの備え付けについて継続実施を依頼した。また、地域コミュニティ支援について、情報共有、連携・協力して取り組んでいくことを確認した。</li> <li>宅建協会と連携した加入促進。</li> <li>集合住宅向け加入促進チラシの自治会等への提供。</li> </ul> <p>〈参考〉</p> <p>西区自治協議会会長会、（公社）福岡県宅地建物取引業協会福岡西支部、西区役所の三者で校区自治協議会並びに自治会・町内会が取り組む安全・安心で明るく住みよいまちづくり活動に対し、連携して取り組んでいく旨の協定を締結（平成 25 年 11 月 9 日）</p> 
<p>イ 市民向け PR チラシの配布</p>	<p>再掲Ⅱ-（1）エ</p>
<p>(3) 地域の各種団体間等の連携強化</p>	
<p>ア 「自治協議会共創補助金」による支援</p>	<p>再掲Ⅰ-（3）ア</p>





# ■Ⅲ 担い手づくり

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績				
(1) 地域活動への参加者を増やす					
ア 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力	【事例発表会・シンポジウム等】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	早良	第2回 早良いきいきサミット	自治協議会関係者、公民館職員、医療・介護関連従事者、市民、区職員	2/7	315人
	【自治協議会実務者研修】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	東	自治協議会実務者研修 ・校区各種団体の会計研修	自治協議会役員及び各種団体役員	4/20・6/20 (名島校区) 5/9(香椎浜校区) 5/11・6/14 (松島校区) 6/1 (多々良校区) 6/19 (和白校区) 6/22(香椎東校区) 6/25 (舞松原校区) 6/26 (美和台校区)	228人
	南	自治協議会会計担当者研修	自治協議会会長、会計担当者	6/6	25人
	南	校区各種団体への会計研修	各種団体の会計担当者	5/23 (西高宮校区) 6/20 (長丘校区) 12/15 (弥永校区) 2/22 (弥永西校区)	100人
	西	防災に関する研修	自治協議会役員等	12/6	60人
	【リーダー養成講座】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	城南	地域リーダー養成講座	地域リーダー養成講座 (堤地区)	4/8	27人
	【その他】				
	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数
	博多	魅力あるコミュニティづくり研修会	自治協議会会長・副会長・会計等役員	1/19	54人
南	自治組織協議会研修「意見の対立を乗り越え共創するために」	自治協議会会長等	7/26	50人	
南	人材力活性化研修	自治協議会役員及び各種団体役員 (弥永西校区)	9/26・2/22	50人	
城南	テーマ別研修	自治協議会会長・副会長・会計等	2/2	45人	
城南	自治協議会等広報講座	PTA	5/23	42人	
城南	自治協議会等広報講座	自治協広報	6/26	5人	



主な事業等	事業等の実績	
イ 自治協議会等 会長への感謝状 の贈呈	<p>・自治貢献者に対し、市長から感謝状を贈呈した。</p> <p>〈対象者〉 自治協議会会長退任者</p> <p>〈贈呈人数〉 贈呈人数 43人</p> <p>〈贈呈式〉 平成30年10月23日</p> <p>※「“共創”自治協議会サミット」の中で実施</p>	
ウ 地域デザインの 学校の実施 《参考資料⑤》	<p>・「地域活動の担い手」を養成することを目的に、地域活動にすでに従事している人々や地域活動への意欲や関心を持つ人々が、同じ問題意識を共有し、お互いに結びつきながら、活動のノウハウ（地域活動のやり方・答えの出し方）を学ぶための場を提供した。</p> <p>〈実施校区〉 南区野間周辺</p>	
エ 「自治会活動ハンドブック」等の配布	再掲Ⅱ-（1）オ	
オ 「地域デビュー応援事業」による自治会・町内会への支援	再掲Ⅱ-（1）ア	
カ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催	再掲Ⅱ-（1）イ	
(2) 地域役員等の担い手づくり		
ア コミュニティ への協力依頼 の整理・削減	<p><b>【全局・区・室での取り組み推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への協力依頼等に関する方針を定め、全所属に対して積極的に見直しを進めるように、副市長名にて「市から地域への協力依頼等の見直しについて」を通知。</li> <li>・4月に年度内に行う地域への協力依頼等の照会を実施。</li> <li>・9月に、4月の実施した照会の結果、見直しが必要ではないかと判断した本庁所管課の関係課長会議を実施し、市から地域への依頼等に対する考え方、区役所の依頼等の状況及び関係課との調整の依頼。</li> </ul> <p><b>【見直し事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選考委員会等への出席依頼については、委員活動費（交通費）を支給するよう改めた。</li> <li>・講座等への参加者の推薦依頼を、お知らせ（広報のみ）へ変更した。</li> </ul>	

主な事業等	事業等の実績	
イ 公民館事業を通じた人材発掘・育成		再掲IV- (1) ア
ウ 自治協議会と連携して実施する等による自治会・町内会向けの研修会等の開催		再掲II- (1) イ
エ 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力		再掲III- (1) ア
オ 「“共創”自治協議会サミット」の開催		再掲I- (1) ア
カ 自治協議会等会長への感謝状の贈呈		再掲III- (1) イ
キ 「自治協議会共創補助金」による支援		再掲I- (3) ア
<b>(3) 新たな担い手としての企業等の参加の促進</b>		
<b>ア “ふくおか”地域の絆応援団の登録・公表</b> 《参考資料⑥》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動を応援している企業や商店街等を「“ふくおか”地域の絆応援団」として登録・公表し、地域との連携を進める。</li> </ul> <p><b>【応援団登録数】</b>（令和元年8月1日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・71団体（企業、商店街、大学、個人事業所など）</li> </ul> <p><b>【“ふくおか”地域の絆応援団評議会】</b></p> <p>企業等役員や商工会議所代表、商店街連合会代表などで構成され、地域活動を応援する企業等の取組みの普及・拡大や、企業と地域・企業間などの交流の促進などについて意見交換する。</p>	

主な事業等	事業等の実績
<p>イ セミナー開催による連携の促進 《参考資料⑦》</p>	<p>・NPOや企業等との共働による地域課題解決への取組みを促進するとともに、コミュニティの担い手と雇用の創出を目指す</p> <p><b>【“ふくおか”地域の絆応援団セミナー開催実績】</b></p> <p>地域課題の解決に向けた取組みを行なっている企業・NPOによるトークセッション ※対象者：地域でのビジネスに関心のある創業者，企業の新規事業部門関係者，自治協議会等地域団体関係者，そのほか一般の方</p> <p>○第8回 平成30年10月23日（参加者：86名） テーマ：地域と共創する、地域の絆応援企業！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 絆づくりへの一歩 ～みらいへの共生のために今出来ること」 医療法人相生会 金隈病院 地域医療連携部 山内 良一 氏</li> <li>② 交通安全と地域貢献」 株式会社マイマイ マイマイスクール笹丘 柳井田 慎一 氏</li> <li>③ 子育てサロン活動を通して」 社会福祉法人仁愛会 仁愛保育園 保育士 山口 葉月 氏</li> <li>④ 協定書から始まる地域との連携」 株式会社九州第一興商 店舗営業課 平原 悠祐 氏</li> </ul> </li> </ul> <p>○第9回 平成30年12月10日（参加者：22名） テーマ：「社会的責任」から「社会価値の創造へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演&amp;実践事例紹介 「社会価値を生み出すCSRのポイント」 株式会社Green prop 丸山優実氏</li> </ul> <p><b>【事例発表】 「建設スキルを活かして地域に貢献」</b> 野坂建設株式会社 代表取締役 野坂 輝和 氏</p>  <p>○第10回 平成31年3月5日（参加者：23名） テーマ：地域の自治協議会長に聞く、自治組織のアレコレ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「地域組織のアレコレー百道浜校区の場合」 百道浜校区自治協議会 会長 竹内 雅之 氏</li> </ul>  <p>○第11回 平成31年3月19日（参加者：19名） テーマ：地域とともに価値をつくる企画のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座「ロジカルシンキングと問題解決の手法」 FDC福岡地域戦略推進協議会 神田橋 幸治 氏</li> <li>・ワークショップの実施</li> </ul>
<p>ウ 地域活動を応援している企業等への感謝状の贈呈 《参考資料⑧》</p>	<p>自治協議会，自治会・町内会などが行うまちづくりに特に貢献する活動を行なっている企業や事業者，商店街などに感謝状を贈呈した。</p> <p>&lt;贈呈団体数&gt; 15 団体（企業，商店街，福祉事業所など） &lt;贈呈式&gt; 平成 30 年 10 月 23 日（「共創 自治協議会サミット」の中で実施）</p>

## ■IV 全体を通じた取組

[主な事業等の状況]

主な事業等	事業等の実績
<p>(1) ふくおか共創プロジェクト</p> <p>ア 「共創コネクター」による支援 《参考資料⑨》</p>	<p>福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」内に、地域活動に協力したい企業や、課題解決に取り組もうとしている地域などの相談を受ける窓口として「共創デスク」を設置し、専門スタッフとして「共創コネクター」を配置。 共創の取組みの実現に向けた支援を行っている。</p> <p>※平成30年度 相談受付件数 延べ248件、校区・企業等訪問件数 延べ89件</p> <p>【平成30年度 共創コネクター支援事例】</p> <p>(1) さよなら大名公民館（中央区大名地区）</p> <p>大名地区に住んでいる子どもたちが大名地区に関わるきっかけや思い出作りを行うため、取り壊しが決まっていた旧公民館の壁に子どもたちが絵を描くプロジェクト。 公民館からの発案を受け、協力可能な企業をマッチング。 企業には当日使用するペンキや道具の提供、塗り方のレクチャーをサポート頂いた。</p> <p>【日時】9月23日（日）</p> <p>【参加状況】《企業等》 嘉穂無線ホールディングス （株式会社グッデイ） 株式会社カンペハピオ 《小・中学生》40名以上</p>  <p>(2) 山ノ鼻古墳灯明まつり（西区西都校区）</p> <p>西都校区自治協議会が抱える住民間コミュニケーションに関する課題と山ノ鼻古墳公園の資産価値普及のため実施を検討していた「灯明まつり」に、企業、学校、専門家、近隣施設が協力し、まつりを実施した。</p> <p>【日時】平成30年11月24日（土）</p> <p>【参加状況】 ボランティア130名以上</p> <p>《地域》 西都校区自治協議会、地域住民 《企業等》 「特別養護老人ホーム いと楽し」 《学校》 西都小学校、舞鶴高校の学生 《専門家》 灯明地上絵のアートディレクションを行う専門家 《近隣施設》 西部地域交流センター「さいとぴあ」</p> 
<p>イ 校区ビジョン策定支援</p>	<p>再掲Ⅰ-（3）ウ</p>
<p>ウ 地域デザインの学校の実施</p>	<p>再掲Ⅲ-（1）ウ</p>
<p>エ セミナー開催による連携の促進</p>	<p>再掲Ⅲ-（3）イ</p>

主な事業等	事業等の実績																									
(2) 公民館の取組																										
<p>ア 公民館事業を通じた人材発掘・育成</p>	<p><b>【学生がデザインする公民館事業】</b>          地域の一員である学生に地域での交流を促すとともに公民館の「つなぐ」機能の強化を図る。 ※11 館で実施</p> <p><b>【地域の担い手パワーアップ事業】</b></p> <p>(1) 必須事業          公民館の地域力応援プログラム          公民館職員の地域コミュニティ支援能力を向上させるための講座等を各区で実施。</p> <p>(2) 選択事業</p> <p>ア 公民館スマホ塾          市民による ICT の安心・安全な活用を支援するため、身近な公民館において ICT に関する知識やスマートフォンの活用方法を紹介する講座の開催。</p> <p>イ 地域の担い手づくりプログラム          地域活動に初めて参加する方が楽しんで活動を続けていくための講座や、地域団体の役員等向けへの地域課題解決のための講座、地域の交流会の提供等を実施。</p> <p>ウ ICT 担い手づくりプログラム          地域で「公民館ブログ」や「自治協ブログ」などで ICT を活用した地域情報を収集・発信する人材を育成するための技術講習等を実施。</p> <p>エ きっかけづくりプログラム          地域住民に気軽に公民館に来館いただき、新たな集まりや交流を生むため、公民館ロビーなどを活用したイベントや環境づくりを実施。          ※公民館 147 館中 110 館で実施</p> <p><b>【公民館がつなぐ地域共創推進事業（公民館コラボLAB）】</b>          公民館のつなぐ支援を促進し、公民館と事業者、事業者と地域諸団体との連携を活発にするための仕組みづくりをNPOとの共働による3年間の事業として実施。(H30～R2)</p>																									
<p>イ 自治協議会等との連携による効果的・効率的な事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館運営懇話会（地域団体の代表者等で構成）を通し、地域の課題の把握に努めている。</li> <li>・公民館と区の連携を強化し、さまざまな地域課題に応じた学習機会の提供に努めている。</li> <li>・地域との情報共有や役割分担などにより、地域が自主的・主体的に行う事業と公民館事業の重複を避け、効果的な事業実施を図っている。</li> <li>・区においては、研修会などを公民館長と自治協議会会長が合同で実施するなど、地域課題などを把握する工夫を行っている。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="448 1704 1441 2141"> <thead> <tr> <th>区</th> <th>事業内容</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td> <td>中央区自治協議会等代表者会・公民館長会合同研修会</td> <td>自治協議会等会長、公民館長、区職員</td> <td>10/18</td> <td>33 人</td> </tr> <tr> <td>南</td> <td>自治組織協議会・公民館館長会合同研修</td> <td>自治協議会会長、公民館長</td> <td>11/29</td> <td>49 人</td> </tr> <tr> <td>早良</td> <td>第2回 早良いきいきサミット</td> <td>自治協議会関係者、公民館職員、医療・介護関連従事者、市民、区職員</td> <td>2/7</td> <td>315 人</td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>西区会長会 しゃべり場</td> <td>自治協議会会長、区職員</td> <td>10/10(2回実施)、12/14. 2/6</td> <td>45 人</td> </tr> </tbody> </table>	区	事業内容	対象	実施時期	参加人数	中央	中央区自治協議会等代表者会・公民館長会合同研修会	自治協議会等会長、公民館長、区職員	10/18	33 人	南	自治組織協議会・公民館館長会合同研修	自治協議会会長、公民館長	11/29	49 人	早良	第2回 早良いきいきサミット	自治協議会関係者、公民館職員、医療・介護関連従事者、市民、区職員	2/7	315 人	西	西区会長会 しゃべり場	自治協議会会長、区職員	10/10(2回実施)、12/14. 2/6	45 人
区	事業内容	対象	実施時期	参加人数																						
中央	中央区自治協議会等代表者会・公民館長会合同研修会	自治協議会等会長、公民館長、区職員	10/18	33 人																						
南	自治組織協議会・公民館館長会合同研修	自治協議会会長、公民館長	11/29	49 人																						
早良	第2回 早良いきいきサミット	自治協議会関係者、公民館職員、医療・介護関連従事者、市民、区職員	2/7	315 人																						
西	西区会長会 しゃべり場	自治協議会会長、区職員	10/10(2回実施)、12/14. 2/6	45 人																						

主な事業等	事業等の実績						
ウ 公民館による自治協議会等のコミュニティ支援の充実	<p>【コミュニティに対する情報提供・施設提供など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供・施設提供などの支援を引き続き実施している。</li> <li>・公民館ブログや公民館だよりと連携し、地域コミュニティの広報活動等を支援する。</li> </ul>						
エ 公民館職員への研修などの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上を図るため、各区において、自治協議会との連携やコミュニティの支援、生涯学習、人権教育に関する研修などを実施している。</li> <li>・新任公民館職員を対象に、自治協議会との連携やコミュニティ支援に関する研修を実施している。</li> <li>・校区担当職員による公民館訪問を通して、公民館への助言・指導に努めている。</li> </ul>						
(3) 情報通信技術（ICT）の活用促進							
ア 防災アプリ「ツナガル+（プラス）」の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本地震で課題となった災害時における指定避難所の把握などに対応できる防災アプリ「ツナガル+（プラス）」を開発・提供し、地域での情報交換ツールとして活用。</li> <li>・日頃から自治会や地域サークルなどでの情報交換ツールとして活用し、有事には災害モードに切り替わることで、避難者と福岡市の双方向で情報のやり取りが可能となる。</li> </ul> <p>※アプリ操作に特化した出前講座の実施件数…40件</p>						
イ コミュニティが行うICTを活用した広報活動等の支援	再掲I-(1)オ						
(4) 市役所のあり方							
ア 校区担当職員への研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区担当職員を対象に、次の研修を行った。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 1288 1423 1541"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 1288 740 1339">対象</th> <th data-bbox="740 1288 815 1339">日時</th> <th data-bbox="815 1288 1423 1339">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 1339 740 1541"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校区担当職員（転入者は必修）</li> <li>・その他、地域支援担当業務に従事する職員（希望者のみ）</li> </ul> </td> <td data-bbox="740 1339 815 1541">4/26</td> <td data-bbox="815 1339 1423 1541"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権研修</li> <li>・男女共同参画について</li> <li>・コミュニティ施策の概要とこれまでの経緯</li> <li>・公民館が地域にできる支援について</li> <li>・実務研修</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	対象	日時	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校区担当職員（転入者は必修）</li> <li>・その他、地域支援担当業務に従事する職員（希望者のみ）</li> </ul>	4/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権研修</li> <li>・男女共同参画について</li> <li>・コミュニティ施策の概要とこれまでの経緯</li> <li>・公民館が地域にできる支援について</li> <li>・実務研修</li> </ul>
対象	日時	内容					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校区担当職員（転入者は必修）</li> <li>・その他、地域支援担当業務に従事する職員（希望者のみ）</li> </ul>	4/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権研修</li> <li>・男女共同参画について</li> <li>・コミュニティ施策の概要とこれまでの経緯</li> <li>・公民館が地域にできる支援について</li> <li>・実務研修</li> </ul>					
イ 職員研修の実施	<p>【コミュニティに関する職員研修】</p> <p>○新規採用職員（行政職員、消防職員）、市立学校教頭に対し研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な主体との共働の取組みや、「共創の地域づくりの手引」を使用して、自治協議会制度の概要や地域との仕事の進め方など、共創の地域づくりに関する研修を実施した。</li> </ul>						

主な事業等	事業等の実績
ウ 職員向け手引きの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年 11 月に、職員向け手引書「地域との共働の手引」を発行</li> <li>・平成 27 年 12 月に、「地域との共働の手引」(改訂版)を発行</li> <li>・平成 28 年 4 月に、「共創の地域づくりの手引」を発行</li> </ul> <p>※ コミュニティに関する職員研修等で、テキストとして使用</p> <p>※ OA上に「共創の地域づくりの推進」のページを作成し、手引きやハンドブック、チラシ等データを掲示</p>
エ 市民向けPRチラシの配布	再掲Ⅱ- (1) エ
オ 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信	再掲Ⅰ- (1) イ



平成 30 年度

福岡市基本計画に係る実施状況の報告  
(案)

令和元年 月

福 岡 市

## 施策2-1 支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化

### 1 事業の進捗状況

★は政策推進プランに掲げる目標値等

#### ● 地域コミュニティの活性化

##### 共創の取組みの推進

・自治協議会共創補助金の交付校区・地区数 H29n : 150 → H30n : 150

★地域への支援回数(共創コネクターによる地域や企業等からの相談受付件数)(累計)

H29n : 62 → H30n : 105

・共創の取組みの推進に向けたワークショップ等の開催地域数, 参加人数(累計)

H29n : 15 地域, 610 人 → H30n : 18 地域, 678 人

★新たな共創の取組み数(市が関わったもの)(累計) H29n : 15 → H30n : 19

・共創による地域づくりアドバイザー派遣回数, 参加人数 H29n : 60 回, 5,833 人 → H30n : 64 回, 8,831 人

##### 魅力・絆・担い手づくりの推進 <一部再掲2-2>

★地域デビュー実施団体数, 地域デビューした人数(累計)

H29n : 457 団体, 42,555 人 → H30n : 491 団体, 48,430 人

★“ふくおか”地域の絆応援団登録数(累計) H29n : 56 → H30n : 69

・“ふくおか”地域の絆応援団セミナー実施回数, 参加人数 H29n : 4 回, 約270 人 → H30n : 4 回, 約150 人

・地域の担い手パワーアップ事業実施公民館数(累計) H29n : 191 館 → H30n : 301 館

・“共創”自治協議会サミットの参加人数 H29n : 約700 → H30n : 約650

・地域のまち・絆づくり応援企業・商店街等感謝状贈呈団体数 H29n : 29 → H30n : 15

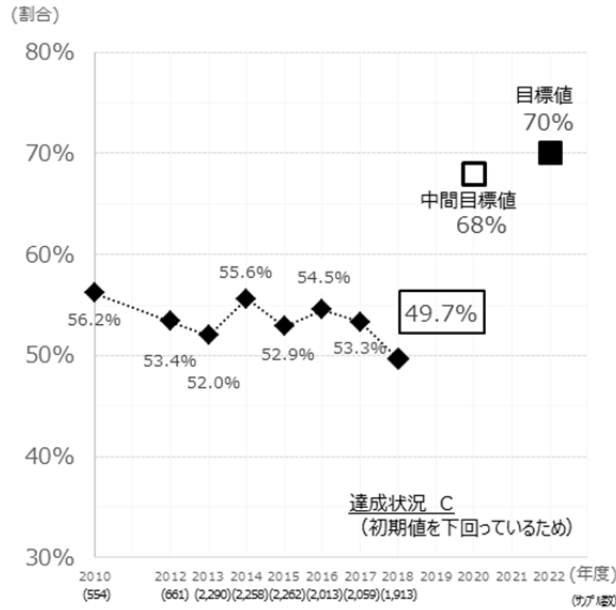
・自治会・町内会活動を紹介するミニブックや自治会活動で活用できる各種様式の作成

##### コミュニティパーク事業の推進

・市と地域とのコミュニティパーク事業協定数(累計) H29n : 3 か所 → H30n : 4 か所

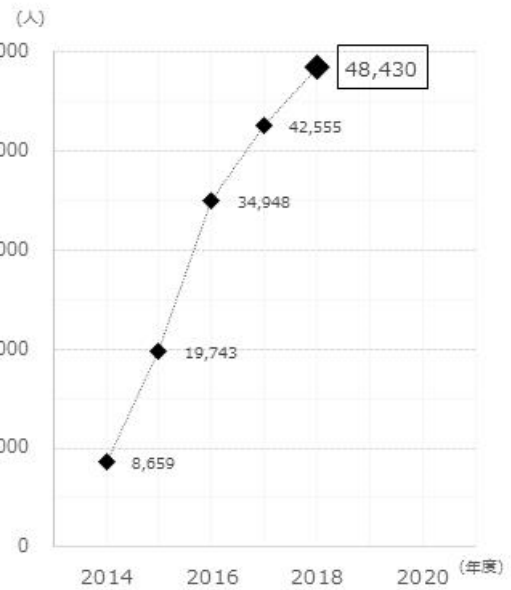
2 成果指標等

①地域活動への参加率  
(地域活動に参加したことがある市民の割合)



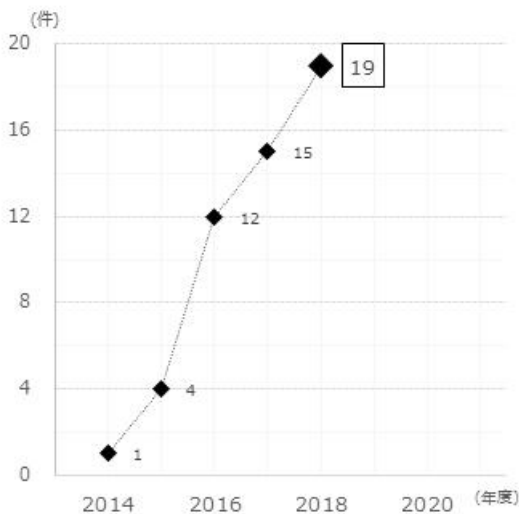
出典：福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」

②地域デビューした人数（累計）[補完指標]



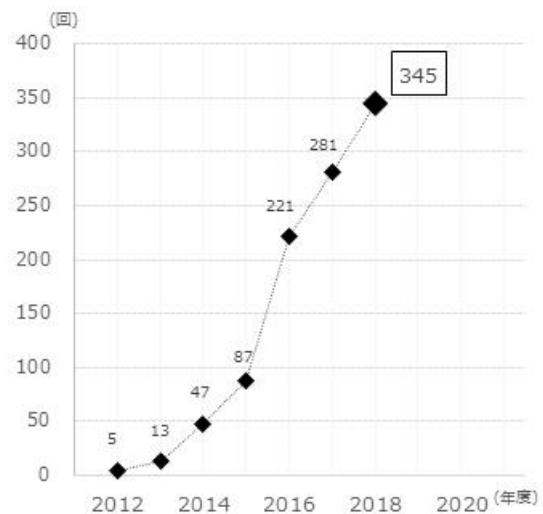
出典：福岡市市民局調べ

③新たな共創の取組み数（市が関わったもの）  
(累計) [補完指標]



出典：福岡市市民局調べ

④共創による地域づくりアドバイザー派遣回数  
(累計) [補完指標]



出典：福岡市市民局調べ

<指標の分析>

地域活動への参加者を増やすには、地域活動になじみのない方に気軽に参加いただくことが必要である。地域コミュニティにおける共創の取組みを推進し、指標②、指標③、指標④は着実に増加しているが、地域活動への参加率（指標①）の改善には至っておらず、今後、さらなる取組みが必要である。

3 事業の進捗状況、成果指標等を踏まえた「施策の評価」

△：やや遅れている	[参考]前年度 ○：概ね順調
-----------	-------------------

#### 4 事業の進捗状況・課題・今後の方向性

##### ●地域コミュニティの活性化

共創の取組みの推進	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共創」の取組みを進めるため、各校区・地区の自治協議会に対して「自治協議会共創補助金」を交付。               <ul style="list-style-type: none"> <li>*自治協議会共創補助金の交付校区・地区数 H29n : 150 → H30n : 150</li> </ul> </li> <li>・共創の取組みを促進するため、福岡市 NP0・ボランティア交流センター「あすみん」内に、「共創デスク」を置き、共創の地域づくりに関心を持つ様々な主体を繋ぐための専門スタッフ「共創コネクター」を配置。               <ul style="list-style-type: none"> <li>*地域への支援回数（共創コネクターによる地域や企業等からの相談受付件数）（累計） H29n : 62 → H30n : 105</li> </ul> </li> <li>・共創による取組みや、地域の特性・目標を生かしたまちづくりの推進、新たなプロジェクトの創出などを目的としたワークショップ等の開催。               <ul style="list-style-type: none"> <li>*共創の取組みの推進に向けたワークショップ等の開催地域数，参加人数（累計） H29n : 15 地域，610 人 → H30n : 18 地域，678 人</li> <li>*新たな共創の取組み数（市が関わったもの）（累計） H29n : 15 → H30n : 19</li> </ul> </li> <li>・地域の活動について、課題解決やフォローアップのために、経験，技能，知識等を持ち、助言，指導ができる専門家の派遣が必要な場合に，地域にアドバイザーを派遣。               <ul style="list-style-type: none"> <li>*共創による地域づくりアドバイザー派遣回数，参加人数 H29n : 60 回，5,833 人 → H30n : 64 回，8,831 人</li> </ul> </li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民のコミュニティへの帰属意識が希薄化しており，自治会・町内会においても地域活動の担い手不足・固定化などが課題となっている。</li> <li>・福岡市は，単身世帯，共同住宅，人口移動が多いため，地域コミュニティ意識が希薄化しやすい都市傾向にある。               <ul style="list-style-type: none"> <li>*単身世帯：49.7%（指定都市1位（H27 国勢調査））</li> <li>*共同住宅：76.9%（指定都市1位（H27 国勢調査））</li> <li>*人口移動の多さ（居住10年未満人口比率）：51.4%（指定都市1位（H27 国勢調査））</li> </ul> </li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治協議会が主体的に行う地域活動を引き続き支援するとともに，地域役員等の担い手づくりなど住みよいまちづくりに向け，「共創」の取組みを進める。</li> <li>・各校区へ現物支給している防災資機材等の予算を自治協議会共創補助金に統合し，地域の裁量を拡大する。</li> <li>・「共創コネクター」の相談業務や情報収集・提供の機能を高め，多様な主体の地域活動への参画を促進するため，ホームページやパンフレットなどを活用し，広報を強化する。</li> </ul>

**魅力・絆・担い手づくりの推進 <一部再掲 2-2>**

<p><b>進捗</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・町内会の地域活動への新たな参加者の広がりや新たな担い手の発掘など、コミュニティの醸成を図るため、「地域デビュー応援事業」として、3世代交流事業など、自治会・町内会が行う住民相互の交流促進を図る事業を支援。             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域デビュー実施団体数，地域デビューした人数（累計） H29n：457 団体，42,555 人 → H30n：491 団体，48,430 人</li> </ul> </li> <li>・地域活動を応援している企業や商店街等を「“ふくおか”地域の絆応援団」として登録・公表するほか，応援団活動を推進する組織として「“ふくおか”地域の絆応援団評議会」を設置し，共催によりセミナー等を実施。             <ul style="list-style-type: none"> <li>* “ふくおか”地域の絆応援団登録数（累計） H29n：56 → H30n：69</li> <li>* “ふくおか”地域の絆応援団セミナー実施回数，参加人数 H29n：4 回，約 270 人 → H30n：4 回，約 150 人</li> </ul> </li> <li>・公民館による地域活動の担い手の育成等の機能を強化するため，「地域の担い手パワーアップ事業」を実施し，公民館職員の資質向上を図るための研修を実施するとともに，各公民館が地域の実情に応じ，地域の担い手を育成するための取組みを展開。             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域の担い手パワーアップ事業実施公民館数（累計） H29n：191 館 → H30n：301 館</li> </ul> </li> <li>・“共創”自治協議会サミットを開催し，自治協議会等による特色のある取組事例の発表などにより情報共有を図ったほか，企業や商店街等で特に地域活動に貢献する活動を行っている団体に感謝状を贈呈。             <ul style="list-style-type: none"> <li>* “共創”自治協議会サミットの参加人数 H29n：約 700 → H30n：約 650</li> <li>* 地域のまち・絆づくり応援企業・商店街等感謝状贈呈団体数 H29n：29 → H30n：15</li> </ul> </li> <li>・自治会・町内会の活動などに関する基礎知識や参考となる事例をまとめたミニブックを作成し，また，自治会・町内会活動で活用できる各種様式を word，exel などにデータ化し，福岡市ホームページに掲載。</li> </ul>
<p><b>課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力や特性を地域住民が共有し，幅広い多くの地域住民の参画により，目標を共有し，楽しくまちづくりに取り込むことが必要。</li> <li>・自治会・町内会など小さなコミュニティを大切にし，見守りや防災に繋がるような，住民相互の顔の見える関係づくりに取り組むことが必要。</li> <li>・地域の担い手の負担を軽減するとともに，人材の発掘・育成，企業や事業者，NPO など様々な主体の参画を図ることで担い手づくりに取り組むことが必要。</li> </ul>
<p><b>今後</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域デビュー応援事業」について，自治会・町内会が行う住民同士の交流事業に，防災や一人一花運動の視点を加えてステップアップする取組みに対して補助期間を延長する。</li> <li>・「“ふくおか”地域の絆応援団事業」，「地域の担い手パワーアップ事業」を引き続き実施していく。</li> <li>・“共創”自治協議会サミットによる取組み事例の共有などに加え，企業や商店街等で特に地域活動に貢献した団体に対する感謝状事業を継続する。</li> <li>・自治会活動サポート事業の成果物であるミニブックやデータ化した各種様式等の提供などにより，役員の負担軽減や新たな担い手の確保に取り組む。</li> </ul>

コミュニティパーク事業の推進	
<b>進捗</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業に関心を持つ地域に対して丁寧な事業説明を実施した。</li> <li>・ 地域による自律的な管理運営を行うための協定書締結に向け、アドバイザーを派遣するなど、地域住民によるワークショップの開催支援を行った。</li> <li>・ 西区 1 箇所にて新たに協定書を締結した。  <ul style="list-style-type: none"> <li>* 市と地域とのコミュニティパーク事業協定数（累計） H29n : 3 か所 → H30n : 4 か所</li> </ul> </li> <li>・ コミュニティパーク事業によって公園をさらに活用するための施設としてパークハウスを設置できるよう、その構造や仕様について定めた「パークハウスガイドライン」を策定した。  <ul style="list-style-type: none"> <li>* H30n パークハウス設置着手公園 : 2 か所</li> </ul> </li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の活用における地域間格差の助長や独占的な利用などの原因とならぬよう、適宜アドバイザーを派遣するなど、慎重に取り組むことが必要。</li> <li>・ パークハウスと公園が一体的に活用されるよう地域を支援していくことが必要。</li> </ul>
<b>今後</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も引き続き、相談を受けている地域へ事業説明を行うとともに、事業開始に向け、アドバイザー派遣などの支援を行う。</li> <li>・ 今後も引き続き、設置されたパークハウスが、公園の魅力向上とコミュニティの活性化に資する施設となるよう、その運営等について地域へ指導や助言を行う。</li> <li>・ コミュニティパーク事業の実施を検討する地域向けに、事業内容をわかりやすく示したガイドブックを作成する。</li> </ul>



## 施策 2 - 2 公民館などを活用した活動の場づくり

### 1 事業の進捗状況

★は政策推進プランに掲げる目標値等

#### ●活動の場づくり

##### 公民館の機能強化（公民館改築）

★150 坪館整備数 H29n : 138 館 → H30n : 139 館

##### 公民館の機能強化（地域の担い手パワーアップ事業）

★地域の担い手パワーアップ事業実施公民館数（累計） H29n : 191 館 → H30n : 301 館

##### 地域集会施設建設等助成

・地域集会施設の新築や増改築，修繕，借上等に対する助成 H29n : 22 件 → H30n : 28 件

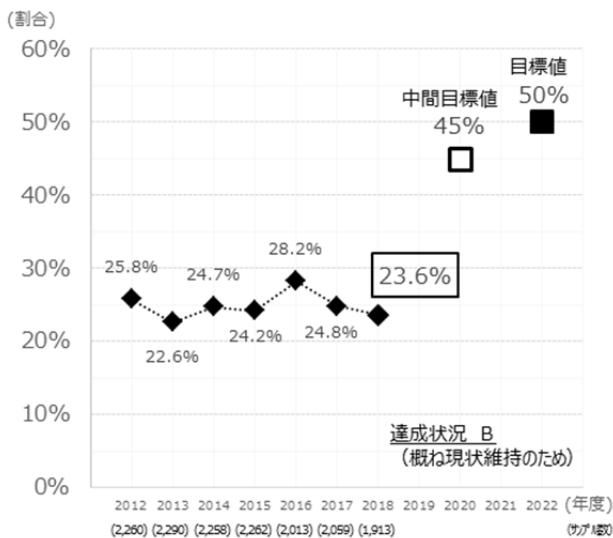
##### 早良南地域交流センター整備の推進

★整備用地の取得，PFI 事業契約の締結

### 2 成果指標等

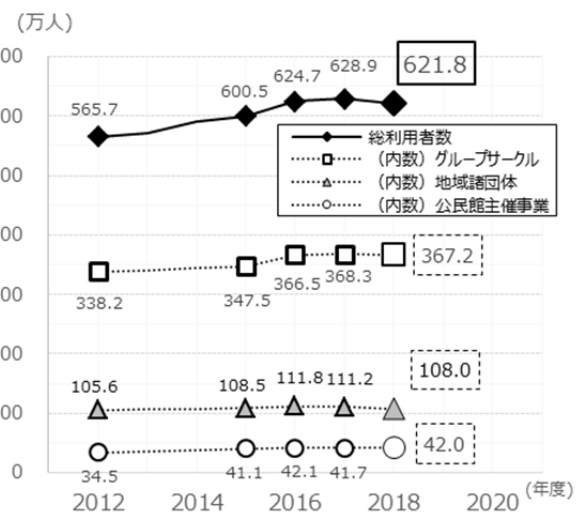
#### ①公民館の利用率

（年に1～2回以上公民館を利用した市民の割合）



出典：福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」

#### ②公民館延べ利用者数 [補完指標]



出典：福岡市市民局調べ

#### <指標の分析>

地域の担い手パワーアップ事業などの取組みを進め，指標②の利用者数は増加傾向にあるが，指標①の公民館の利用率は概ね横ばいで推移している。これまで公民館を利用していない人の利用を促進するきっかけづくりなどの取組みをさらに進めていく必要がある。

### 3 事業の進捗状況，成果指標等を踏まえた「施策の評価」

△：やや遅れている

[参考]前年度

△：やや遅れている



4 事業の進捗状況・課題・今後の方向性

●活動の場づくり

公民館の機能強化（公民館改築）	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30n は百道公民館の 150 坪化を実施。 *150 坪館整備数 H29n : 138 館 → H30n : 139 館</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の規模拡大に伴い、新たな用地確保が難航するケースが多い。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業未着手の 2 館について、地域や関係機関等と協議を行い、早急に移転用地の確保を図るとともに、事業を進めている 6 館についても、地域や事業者と連携し綿密な進捗管理を行い予定内での竣工を図り、事業全体の早期完了を目指す。</li> </ul>

公民館の機能強化（地域の担い手パワーアップ事業）	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館による地域活動の担い手の育成等の機能を強化するため、「地域の担い手パワーアップ事業」を実施し、公民館職員の資質向上を図るための研修を実施するとともに、各公民館が地域の実情に応じ、地域の担い手を育成するための取組みを展開している。 *実施公民館数（累計） H29n : 191 館 → H30n : 301 館</li> </ul> <p>【主なプログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の地域力応援プログラム（公民館職員の地域コミュニティ支援能力を向上させるための講座等を実施） H29n : 20 回 → H30n : 17 回</li> <li>・公民館スマホ塾（身近な公民館においてスマートフォンの活用方法等を紹介する講座を開催） H29n : 57 館 → H30n : 73 館</li> <li>・地域の担い手づくりプログラム（地域活動に主体的に取り組む人を育成するための講座等を開催） H29n : 42 館 → H30n : 45 館</li> <li>・きっかけづくりプログラム（公民館利用のきっかけづくりとして、気軽に公民館に立ち寄ってもらえるような催し等を開催） H29n : 32 館 → H30n : 30 館</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施館数は増加し、地域活動への参加のきっかけとなる場の提供はできているが、公民館の利用率は概ね横ばいの状況である。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた担い手の育成やきっかけづくりを継続的に実施するとともに、若者等を新たな担い手として地域活動へ呼び込むなど、利用者増加につながる取組みを推進する。</li> </ul>

地域集会施設建設等助成	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの形成・発展を担う自治会・町内会の活動拠点である地域集会施設の新築や増改築、修繕、借上等に対する助成を実施している。 *助成件数 H29n : 22 件 → H30n : 28 件 (新築 4 件, 増改築 4 件, 修繕 8 件, 借上 7 件, 会議室等借上 5 件)</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域集会施設の新築及びバリアフリー工事を伴う大規模改築への補助額の引き上げや借上への補助回数の制限撤廃の要望が顕著となっている。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1n から地域集会施設の耐震化を支援するため増改築工事への補助を拡充する。</li> <li>・災害時に指定避難所への避難が困難な場合に臨時避難所として活用されること等も踏まえ、地域集会所のバリアフリー工事を伴う大規模改修や借上への補助制度のあり方を検討していく。</li> </ul>

早良南地域交流センター整備の推進	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早良区中南部地域において、地域交流センターを整備するための整備用地を取得し、事業者選定及び PFI 事業契約を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流センターへの交通アクセスの向上が必要。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3n の開館に向け、周辺一体整備工事や、施設の設計を実施していく。</li> <li>・引き続き、バス事業者等と交通アクセス向上に向けた協議を行う。</li> </ul>

## 施策 2 - 4 NPO, ボランティア活動の活性化

### 1 事業の進捗状況

★は政策推進プランに掲げる目標値等

#### ● NPO, ボランティア活動の支援

##### 市民のNPO・ボランティア活動への認知・共感を高める取組み

- ・あすみん利用者数 H29n : 48,548 人 → H30n : 50,821 人
- ・あすみん一般相談件数 H29n : 304 件 → H30n : 335 件
- ・NPO・ボランティア体験事業参加者数 H29n : 567 人 → H30n : 487 人
- ・ボランティア講座（定期開催）参加者数 H30n : 54 人
- ・NPO法人設立説明会参加者数 H29n : 38 人 → H30n : 69 人

##### NPO法人の運営基盤強化への支援

- ・NPO法人運営基盤強化講座参加者数 H29n : 19 人 → H30n : 18 人
- ・NPOマネジメント講座参加者数 H29n : 115 人 → H30n : 149 人
- ・税理士による会計・認定個別相談の相談団体数 H29n : 9 法人 → H30n : 9 法人

##### NPO活動支援基金の周知による寄付者の拡大

- ・NPO活動支援基金に係るチラシ及び活動報告書を作成し、情報プラザ等に配架
- ・NPO活動推進補助金交付件数及び交付額 H29n : 7 件 554 万円 → H30n : 12 件 999 万円

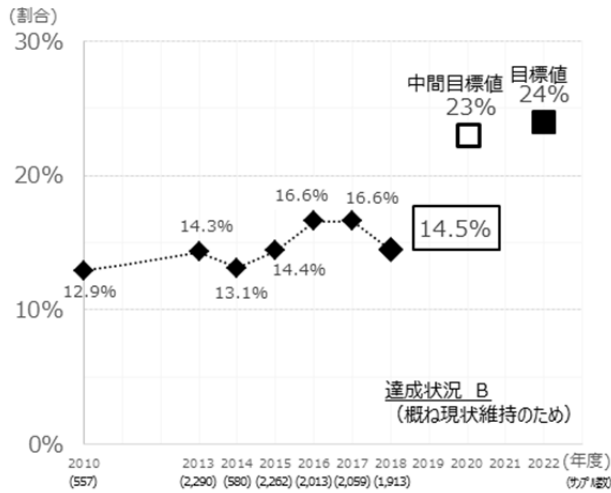
#### ● 共働の推進

##### 共働事業提案制度の実施

- ★共働事業提案制度提案数 H29n : 4 件 → H30n : 3 件（うち、2 事業を採択）
- ・29 年度実施 4 事業の最終評価を実施
- ・30 年度実施 6 事業の中間評価を実施

2 成果指標等

① NPO・ボランティア活動などへの参加率  
(過去5年間にNPOやボランティア活動などに参加したことがある市民の割合)



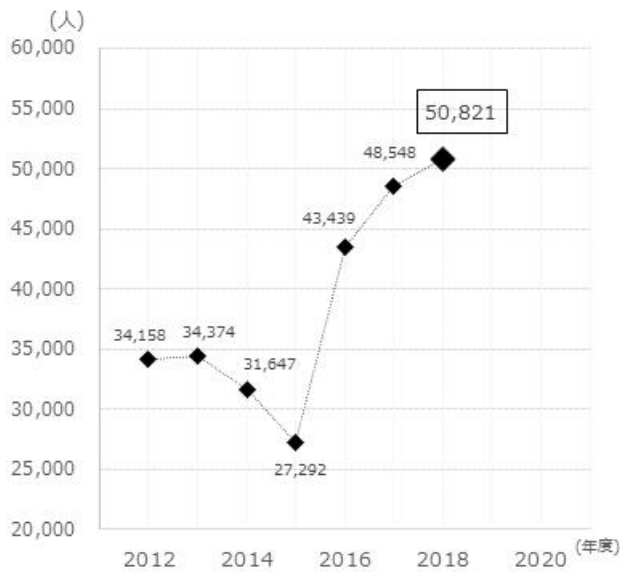
出典：福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」

② 市内に事務所を置く NPO 法人数



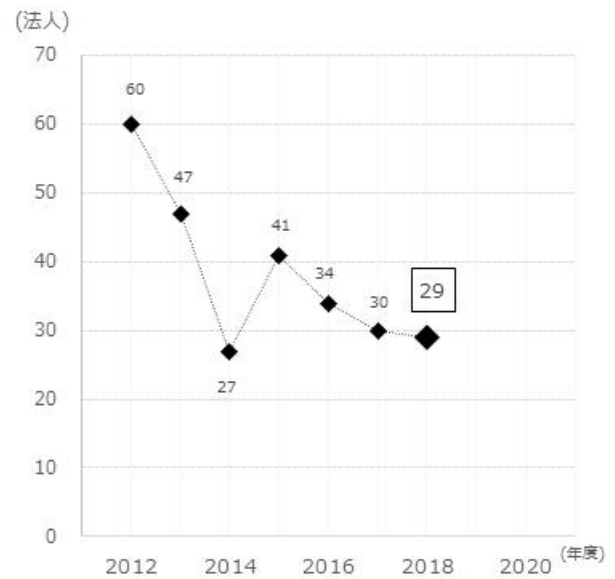
出典：福岡市市民局調べ

③ NPO・ボランティア交流センター利用者数  
[補完指標]



出典：福岡市市民局調べ

④ 福岡市で新規に認証された NPO 法人数  
[補完指標]



出典：福岡市市民局調べ

<指標の分析>

指標①は 2017 年度から 2018 年度にかけて減少に転じたものの概ね現状維持である。あすみん利用者数（指標③）は 2015 年度以降増加しており，NPO やボランティア活動への市民参加は着実に進んでいる。

指標②は若干減少しているが，一般社団法人の設立が増えていることなどが背景にあり，指標④のとおり新規 NPO 法人もコンスタントに認証されていることから，市民公益活動全体としては，着実な広がりを見せている。

3 事業の進捗状況，成果指標等を踏まえた「施策の評価」

○：概ね順調	[参考] 前年度 ○：概ね順調
--------	--------------------

#### 4 事業の進捗状況・課題・今後の方向性

##### ● NPO、ボランティア活動の支援

市民のNPO・ボランティア活動への認知・共感を高める取組み	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO・ボランティア交流センター「あすみん」を拠点として、活動や交流の場の提供及び情報発信・相談等を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* あすみん利用者数 H29n : 48,548 人 → H30n : 50,821 人</li> <li>* あすみん一般相談件数 H29n : 304 件 → H30n : 335 件</li> </ul> </li> <li>・ 気軽にNPO・ボランティア活動を体験できるプログラム「はじめのイッポ」をはじめ、各種講座等を開催し、市民参加の機会を提供。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* NPO・ボランティア体験事業参加者数 H29n : 567 人 → H30n : 487 人</li> <li>* ボランティア講座（定期開催）参加者数 H30n : 54 人</li> <li>* NPO法人設立説明会参加者数 H29n : 38 人 → H30n : 69 人</li> </ul> </li> <li>・ 「平成 30 年 7 月豪雨災害」被災地支援として、「災害ボランティア講座」の開催や「ボランティアバス」を運行し、ボランティア支援を実施。（福岡市社会福祉協議会と共同）               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 災害ボランティア講座参加者数 78 人</li> <li>* 災害ボランティアバス参加者数 17 人</li> </ul> </li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30n の市政アンケート調査では、「市民公益活動に気軽に参加できるようになるために必要な仕組み・施策」について、「気軽に活動を体験できる仕組み」「ボランティアやNPOに関する情報の充実」との回答が上位を占めており、市民の公益活動への参加促進に向けさらなる環境整備が必要である。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTの活用等によりNPOやボランティアに関する様々な情報を発信するとともに、多様な主体との連携や若年層・就労（退職前）世代など各年代に合わせた働きかけを実施し、市民のNPO・ボランティア活動への認知・共感を高め、自主的かつ主体的な活動を促進し、市民公益活動の活性化を図っていく。</li> </ul>

NPO法人の運営基盤強化への支援	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織マネジメント等に関する講座を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* NPO法人運営基盤強化講座参加者数 H29n : 19 人 → H30n : 18 人</li> <li>* NPOマネジメント講座参加者数 H29n : 115 人 → H30n : 149 人</li> </ul> </li> <li>・ 税理士による会計・認定個別相談を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 相談団体数 H29n : 9 法人 → H30n : 9 法人</li> </ul> </li> <li>・ NPO法人の認証・認定を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 新規設立認証数 29 件</li> <li>* 新規認定数 3 件（特例認定から認定への切替 2 件含む），認定更新数 1 件</li> </ul> </li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO活動の活性化には、法人運営の適正化促進に向けた運営基盤強化等の支援が必要である。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人の自立かつ継続的活動に繋げるため、法人の実情に沿った運営基盤強化支援を実施するとともに、法人設立から会計・税務等の実務、認定相談など、法人のニーズに合わせたきめ細かな支援を実施し、NPO活動の活性化を促進していく。</li> </ul>

NPO活動支援基金の周知による寄付者の拡大	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページやチラシ等による広報を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* NPO活動支援基金に係るチラシ及び活動報告書を作成し、情報プラザ等に配架。</li> </ul> </li> <li>NPO活動支援基金を原資として、NPO法人の公益活動に対し助成を行う「NPO活動推進補助金事業」を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 寄付受入額 H29n：23件 818万円 → H30n：21件 357万円</li> <li>* NPO活動推進補助金交付件数及び交付額 H29n：7件 554万円 → H30n：12件 999万円</li> </ul> </li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>基金への寄付額は、H27nをピークに減少傾向にあり、寄付者の内訳では、個人寄付が少なく、企業・団体からの寄付に依存傾向にある。</li> <li>H30nの市政アンケート調査では、「寄付をしなかった理由」として「どこに寄付していいのかわからない」「寄付するきっかけがない」が各4割を超え、また、「NPO活動支援基金」の認知度については、「知っていた」が4%にとどまっており、寄付者の増に向け、基金の仕組みや事業成果等について積極的に周知を図っていく必要がある。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付者の増に向け、ホームページやSNS、市政だより等、様々な媒体を活用することにより「福岡市NPO活動支援基金」「福岡市NPO活動推進補助金」の周知を図るとともに、NPOに対する市民の理解と共感を高めるため、様々な手法により、団体情報の積極的な提供に努めていく。</li> </ul>

## ● 共働の推進

共働事業提案制度の実施	
進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>共働事業提案制度を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 共働事業提案制度提案数 H29n：4件 → H30n：3件（うち、2事業を採択）</li> <li>* 29年度の事業成果等を報告する「事業報告会」及び最終評価（4事業）の実施。</li> <li>* 31年度も事業継続を希望する事業の「中間評価」（6事業）の実施。</li> </ul> </li> <li>市職員及びNPO等を対象として、現場体験研修・提案サポートセミナー等を実施。</li> <li>多様な主体との出会いの場「共働カフェ」を実施。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>共働促進アドバイザーの増員などサポート体制の強化を図っているが、平成30年度共働提案事業概要書提出件数は4件となっており、活動団体への早期アプローチ・伴走支援等、新たな支援手法を検討する必要がある。</li> <li>多様な主体との共働については、全庁的に様々な形で行われており、11年目を迎えた本制度については、制度の目的・成果等を総括・検証し、今後の制度のあり方について検討していく必要がある。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題の解決に向け、企業、NPO、地域等様々な主体による連携・共働について全庁的に推進する中、共働の意義、成果等について、引き続き庁内外に向け周知を図っていくとともに、団体等の意見や他都市の事例等も踏まえ、制度のあり方について検討していく。</li> </ul>

## 令和元年度の主な事業等

### 魅力・絆づくり

#### ○ 自治協議会共創補助金による支援【拡充】

自治協議会が主体的に行う地域活動を支援するとともに、地域住民の交流の場づくりや地域役員等の担い手づくりなど、住みよいまちづくりに向けた共創の取組みを進める。

※令和元年度より、校区自主防災組織への防災資機材等の現物支給に係る予算を統合。

人口数	～2,000人	2,001人 ～5,000人	5,001人 ～10,000人	10,001人 ～15,000人	15,001人～
補助金限度額	2,530千円	2,950千円	3,370千円	3,690千円	4,010千円
校区・地区数	6	11	57	55	22

#### ○ 一人一花運動【継続】



「花で共創のまちづくり」が実現したフラワーシティ福岡をスローガンに、生活の質の向上や都市の成長を目的に持続可能な仕組みを確立するため、一人一花プロモーション事業に取り組む。

### 担い手づくり

#### ○ “ふくおか”地域の絆応援団事業【継続】

地域活動を応援している企業や商店街等を登録し、市HPで公表して地域との連携を進める。また、特に貢献度の高い企業・商店街等について感謝状を贈呈する。

平成30年度より、新たに「ふくおか共創プロジェクト」のホームページやフェイスブック、J:COMのテレビ番組などを活用して応援団登録企業等の活動を紹介して広報に努めるほか、「一人一花運動」などの市の他プロジェクトと連携を図り、応援団登録企業の周知や登録の促進に取り組む。

#### ○ 地域デビュー応援事業【拡充】

自治会・町内会が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できるような工夫をこらした新たな取組みを支援することにより、住民の自治意識の醸成と自治会活動への参画を推進する。

※令和元年度より、新規事業・リニューアル事業を実施した自治会等が、「防災」または「一人一花運動」の視点を加えて企画・実施する事業を支援。(ステップアップ事業)

事業区分	補助率		1団体の限度額	2団体の限度額	3団体以上の限度額
新規事業	1年目	5分の4以内	100,000円	200,000円	300,000円
	2・3年目	2分の1以内	50,000円	100,000円	150,000円
リニューアル事業	1～3年目	2分の1以内	50,000円	100,000円	150,000円
ステップアップ事業	4～6年目	2分の1以内	50,000円	100,000円	150,000円

#### ○ 公民館がつなぐ地域共創推進事業（公民館コラボLABO）【継続】

公民館のつなぐ支援を促進し、公民館と事業者、事業者と地域諸団体との連携を活発にするための仕組みづくりをNPOとの共働による3年間の事業として実施。(H30～R2)



#### ○ 公民館主催事業（地域の担い手パワーアップ事業、学生がデザインする公民館事業）【継続】

地域のまち・絆づくり検討委員会の提言等を踏まえ、公民館が地域活動の担い手の育成や、地域情報の発信などを促進するため、下記の事業を通して効果的なコミュニティ支援を行う。

##### (1) 必須事業

公民館の地域力応援プログラム

公民館職員の地域コミュニティ支援能力を向上させるための講座等を各区で実施。

##### (2) 選択事業

ア 地域の担い手づくりプログラム

イ ICT担い手づくりプログラム

ウ 学生がデザインする公民館プログラム



### 全体を通じた取組み

#### ○ 共創による地域づくり推進事業

##### ☆共創プロジェクトの推進業務

##### ・共創コネクターの配置【継続】

地域活動に協力したい企業等や、課題解決に取り組もうとしている地域などの相談に応じ、様々な主体をつなぐ事で新たな共創の取組みを創出。

##### ・校区ビジョン策定支援【継続】

10年後も暮らしたいまちを目指し、地域の目標共有と特性を活かしたまちづくりの推進や、地域への愛着を醸成するとともに新たな担い手の発掘を図る。

##### ・地域デザインの学校【継続】

地域活動にすでに従事している人々や地域活動への意欲や関心を持つ人々が、同じ問題意識を教習し、お互いに結びつきながら、活動のノウハウを学ぶための場を提供。

##### ☆共創の地域づくりアドバイザー派遣事業【継続】

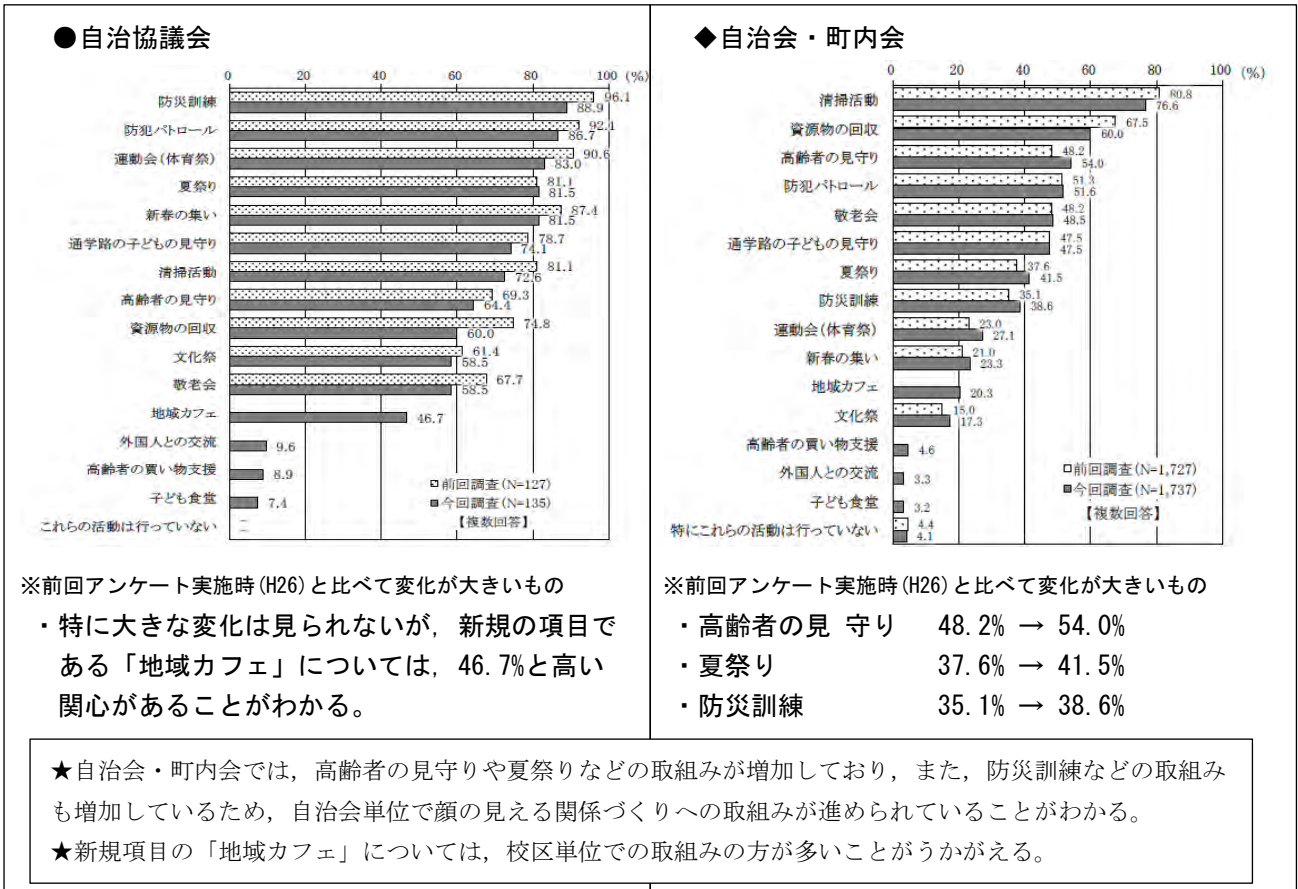
地域活動における課題解決やフォローアップのために、経験、技能、知識等を持ち、助言、指導ができる専門家を登録し、自治会等求めに応じて地域に派遣する。





平成 30 年度自治協議会等アンケート調査結果の概要について

1 活動の実施状況



2 運営や活動にあたっての課題 ※主なもの(前年比)

●自治協議会

- 【人材】 役員の成り手がいない 61.5%(+5.5)
- 【住民】 活動への参加者が少ない 51.9% (+7.8)
- 【運営】 予算が足りない 25.9% (-2.4) など

◆自治会・町内会

- 【人材】 役員の成り手がいない 80.7% (+3.6)
- 【住民】 活動への参加者が少ない 62.2% (+1.2)
- 【運営】 会合や催しを行える場所が少ない 18.1% (-2.6) など

※これらの課題を解決するため、住民への活動のPRや負担の少ない活動の工夫、参加者が楽しめるような活動などに取り組まれている。

3 その他の主な項目について <前回アンケート実施時（H26）との比較表>

●自治協議会（N=130/150）

	H30	H26	備考
会長手当（平均）	約 12.4万円	約 11.1万円	
会長活動費（平均）	約 4.9万円	約 3.7万円	
会長の1か月の活動日数（平均）	約 16.6日	約 17.5日	
自治協議会の予算（平均）	約 677.7万円	約 652.0万円	
ホームページ(ブログ・FB等)開設割合	約 38.5%	約 26.8%	

◆自治会・町内会（N=1,737/2,295）

	H30	H26	備考
会長手当（平均）	約 9.5万円	約 9.1万円	
会長活動費（平均）	約 4.2万円	約 4.4万円	
自治会・町内会の予算（平均）	約 193.3万円	約 176.5万円	
自治会・町内会の加入率	約 85.7%	約 89.1%	
自治会・町内会費（平均）	約 482.6円	約 455.1円	
企業等会員の有無（有）	約 48.6%	—	前は調査なし
企業等会員の会費（平均）	約 1,147.5円	—	前は調査なし
規約を定めている割合	約 91.4%	約 89.7%	

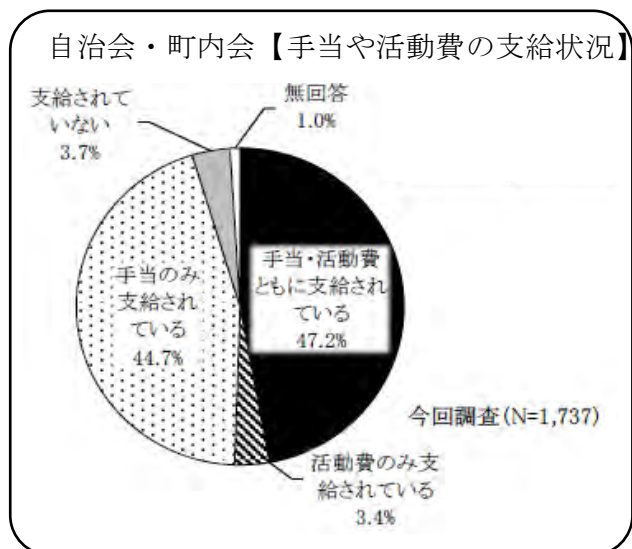
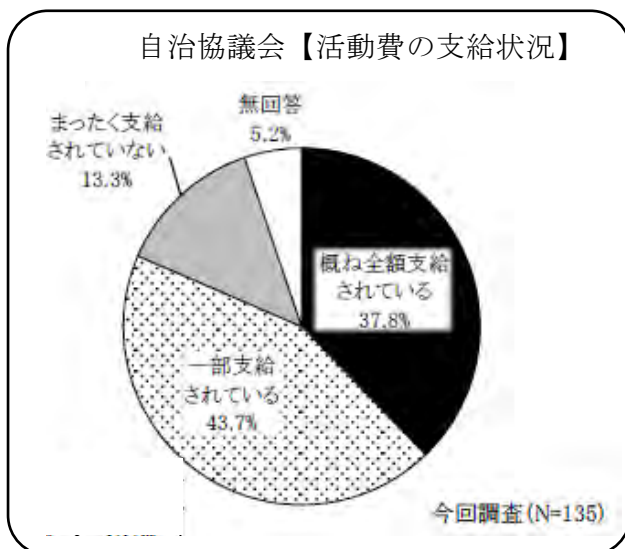
4 アンケート結果の主なもの

◎共通

【活動費について】

平成28年度に行った共創自治協議会補助金の見直しにより、自治協議会会長をはじめとした役員への活動費の増額が行われ、今回の調査では、「概ね全額支給されている」「一部支給されている」と合わせると、81.5%の校区で活動費が支給されている。一方、自治会・町内会では活動費が支給されているのは50.6%にとどまっている。

また、その支給額の平均額は自治協議会会長が4.9万円、自治会・町内会長の活動費のみ支払うケースの平均額は4.2万円となっている。



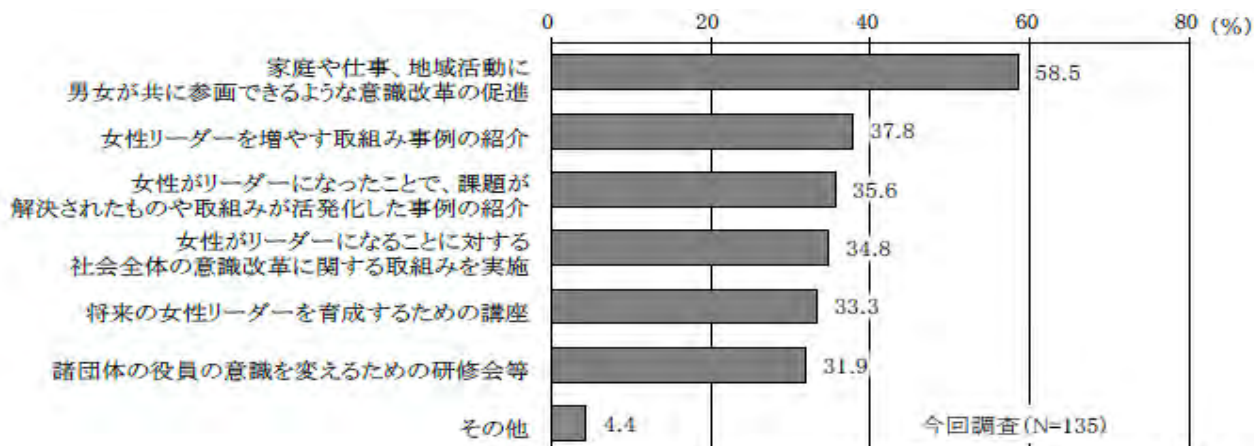


### 【女性リーダーについて】

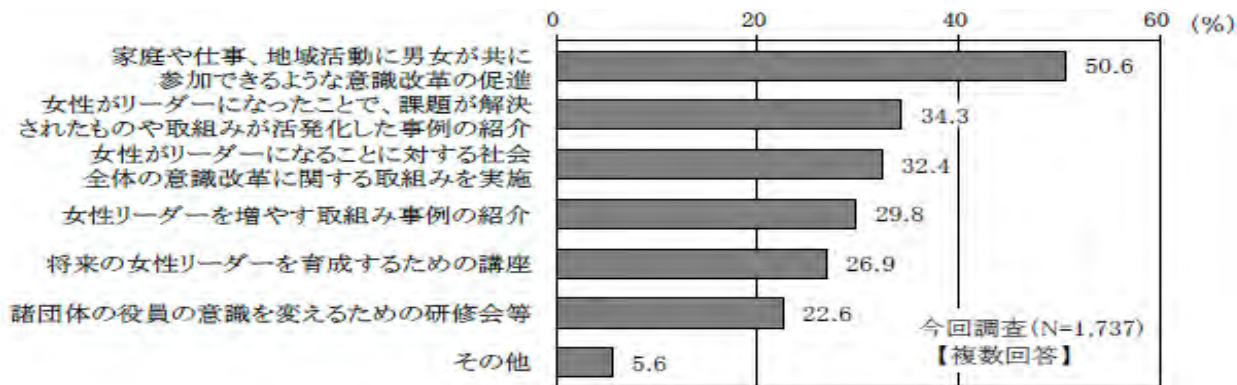
福岡市では、地域における諸団体などの長への女性の就任状況が、2割程度となっており、今回のアンケートで、就任が進まない理由等について調査を行った。

諸団体の長への女性の就任が進まない理由としては、自治協議会及び自治会・町内会双方で、「女性は家事や仕事で忙しいから」「女性は責任のある役を引き受けたがらないから」「これまでの習慣で、リーダーには男性が就任してきたから」が上位を占めている。また、女性リーダーを増やすためにあったらいいと思う取組みについては、いずれも「家庭や仕事、地域活動に男女が共に参画できるような意識改革の促進」を選んだ割合が5割を超えており、地域活動において更なる男女共同参画社会への意識改革が必要なことがうかがえる。

#### 自治協議会【あったらいいと思う取組み】



#### 自治会・町内会【あったらいいと思う取組み】



### 【「共創」の取組みについて】

福岡市では、平成28年度より地域のまちづくりにおいて、自治協議会と市がパートナーとして、企業や商店街、NPO、大学などの様々な主体と地域の未来を共に創り出す「共創」の取組みを推進している。

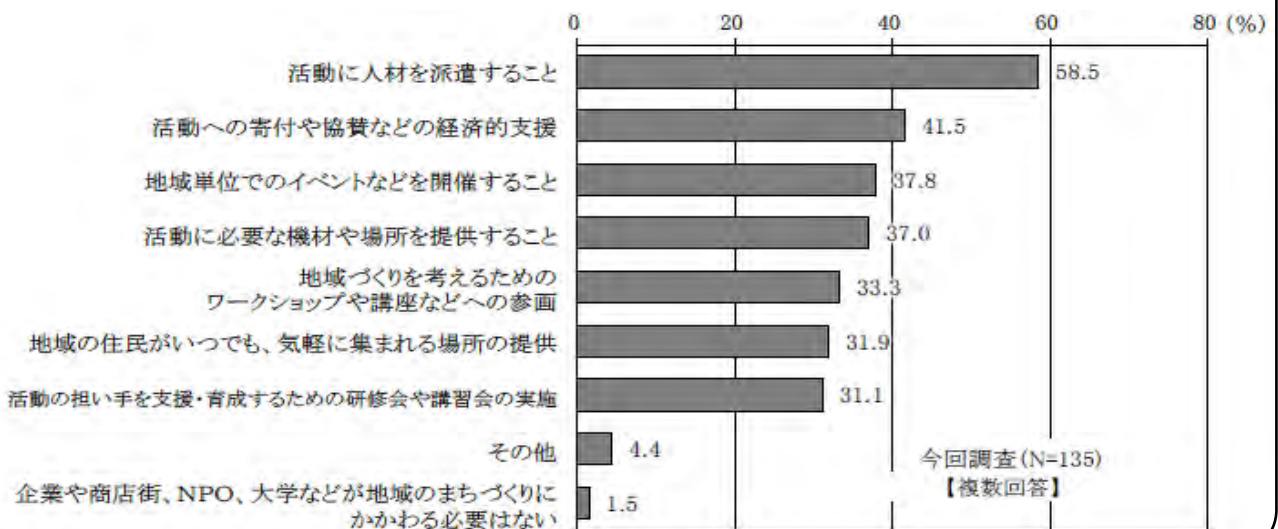
今回のアンケートでは、自治協議会及び自治会・町内会単位での「共創」の取組みの状況、及び「共創コネクター」の認知について調査した。

自治協議会及び自治会・町内会の定例会等において、企業や商店街等が出席している割合は、事業紹介など要件がある場合のみの出席も含めると、自治協議会では31.9%の校区、自治会・町内会では26.1%の自治会・町内会において、企業等が出席している現状にある。

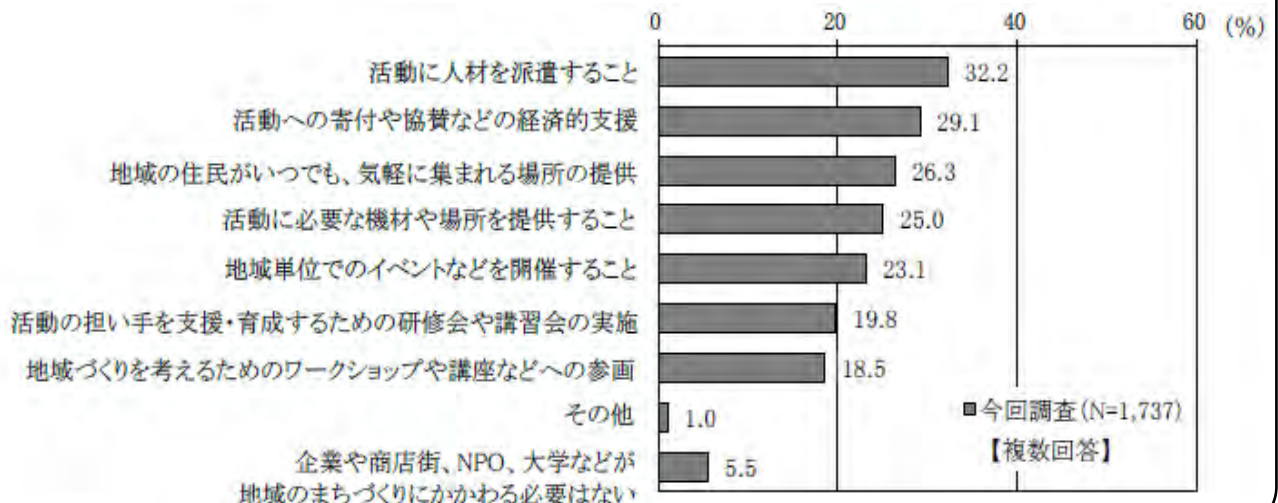
また、企業や商店街、NPO等と連携した事業・取組みを行っている割合は、自治協議会では「有」が34.8%に対して、自治会・町内会では11.9%にとどまっており、校区単位の方が企業等と連携した事業に取り組みやすいことがうかがえる。または、自治協議会ほど自治会・町内会には、「共創」の取組みへの理解が進んでいないと考えられる。なお、自治協議会及び自治会・町内会が企業や商店街等に求める協力は、「活動に人材を派遣すること」が最も求められている。

「共創デスク」及び「共創コネクター」の配置への認知については、自治協議会では約半数の48.9%で認知されているのに対して、自治会・町内会ではわずか9.3%にとどまっているため、自治会・町内会へ「共創」の取組みへの理解促進が必要と思われる。

自治協議会【企業や商店街、NPO、大学などの地域のまちづくり活動への関わり方】



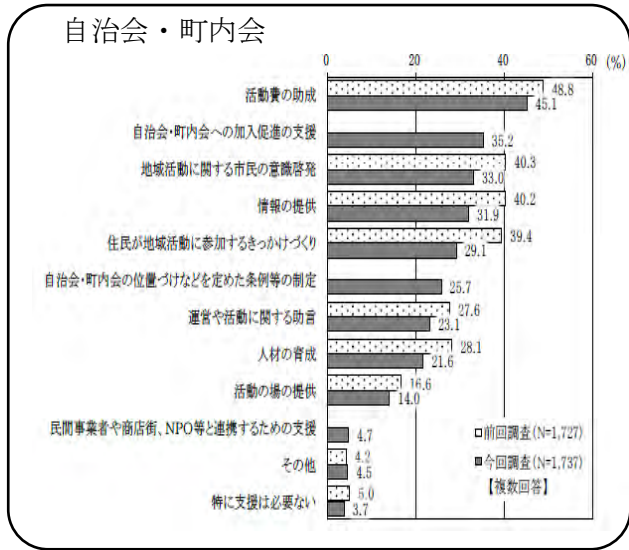
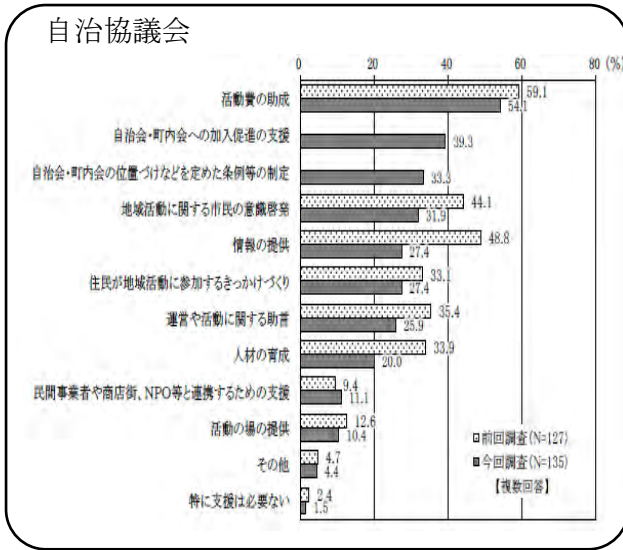
自治会・町内会【企業や商店街、NPO、大学などの地域のまちづくり活動への関わり方】



### 【行政が取り組む必要があること】

行政が取り組む必要があることについては、自治協議会及び自治会・町内会双方において、前回調査と同じく「活動費の助成」が最も多く、継続的な支援が必要ながうかがえる。

また、新規項目の「自治会・町内会への加入促進の支援」は双方において2番目に多く、各自治会・町内会や校区での大きな課題として捉えられているため、今後も継続的な支援が必要。

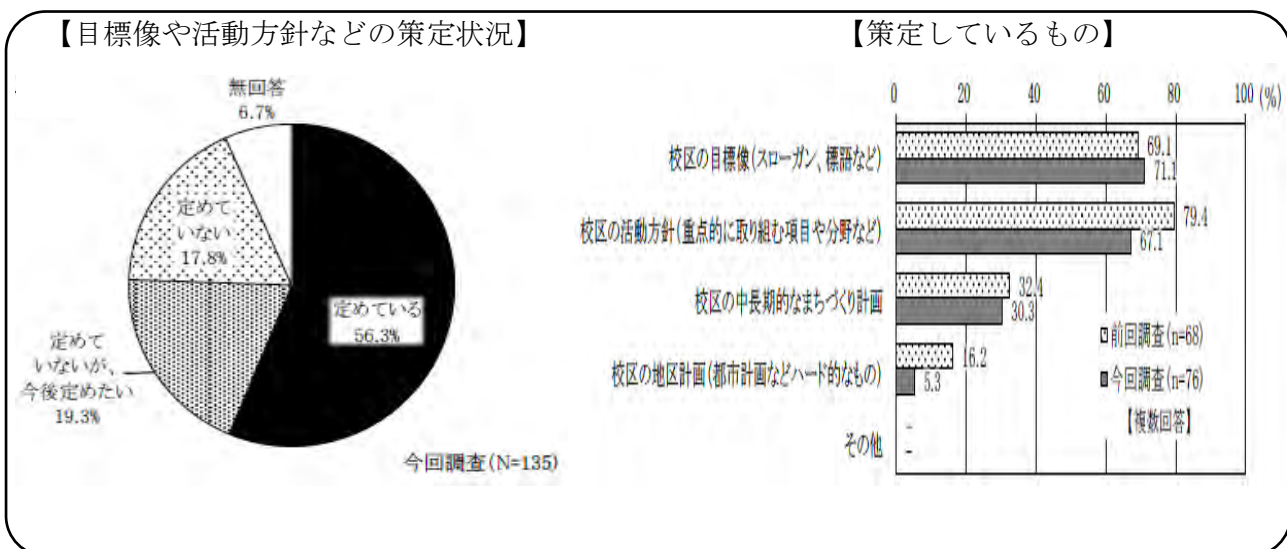


### ◎自治協議会

#### 【目標像や活動方針、まちづくり計画の策定状況】

平成 27 年の「地域のまち・絆づくり検討委員会」からの提言には、「魅力づくり」の求められる取組みとして、地域の魅力や特性を地域住民が共有し、幅広く多くの地域住民の参画により、目標を共有し、楽しくまちづくりに取り組むこととされている。

自治協議会においては、56.3%の校区ですでに校区の目標像や活動方針、まちづくり計画などが定められており、幅広く多くの住民の参加を促す取組みや校区の実情・特性に応じた取組みが行われている。また、19.3%の校区では今後活動方針やまちづくり計画などを定めたいという意向があり、支援していく必要がある。





◎自治会・町内会

【「地域デビュー応援事業」の実施（活用）状況】

平成26年度から実施している、自治会・町内会が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できるような工夫をこらした新たな取組みを支援する「地域デビュー応援事業」は、市内の約3割（26.9%）の自治会・町内会で活用され、平成31年1月までの5年間で延べ約45,000人の住民が地域デビューしている。

また、事業を実施した効果としては、「今まで参加したことがなかった住民の参加があった」と「新たな世代間の交流を図ることができた」で、実施したことがある自治会・町内会の半数以上が効果があったと回答しており、担い手不足等の課題解決への一助となっていることがうかがえ、継続的な支援が必要だと考えている。

※平成31年度からステップアップ事業を創設し、新規事業及びリニューアル事業を3年間実施した自治会・町内会が、防災や一人一花運動の視点を加え、新たな参加者の促進を図ることで、さらに3年間の助成を継続することとしている。（1団体で最長6年間となる）

